

## 平成28年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書

1. 平成28年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書  
1～ 2ページ
2. 平成28年度 特別養護老人ホームいいたてホーム事業報告書  
3～22ページ  

ホーム事業報告書（全体）	3～ 6
各家生活報告（6ユニット）	7～18
医務室事業報告書	19～20
厨房事業報告書	21～22
3. 平成28年度 いいたて在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所事業報告書  
23～26ページ
4. 平成28年度 やまゆり保育所事業報告書  
27～29ページ
5. 平成28年度 事務室事業報告書  
30ページ
6. 研修報告  
31～33ページ

平成28年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書

1. 基本方針

今だに原発事故の影響が色濃く残り、経営や運営を困難なものとしている中でも、職員の待遇改善や、安全且つ、快適に過ごせる場の提供として施設の改修も手掛けてきた。

更には、人員確保にも繋がるであろう住宅の確保も行うなど、法人の存在と継続を踏まえ、法人役員として定期的な理事会・評議員会・監事会を開催し、様々な課題や問題に取り組んできた。

2. 事業内容

・理事会・評議員会・監事会の開催状況

理事会年7回、評議員会年4回、監事会年1回開催。

(1) 理事会の開催状況

回数	開催日	出席(人)		内 容
		理事	監事	
第1回	平成28年 5月24日	5	1	議案第1号 社会福祉法人いいたて福社会評議員の選任について 議案第2号 福祉サービスに関する苦情解決体制に関する第三者委員の選任について
第2回	5月24日	5	1	報告第1号 平成27年度第4回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成27年度社会福祉法人いいたて福社会事業報告について 議案第2号 平成27年度社会福祉法人いいたて福社会一般会計収支決算について 議案第3号 平成28年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第4号 コンクリート殻撤去工事業務委託契約について
第3回	7月25日	7	2	報告第1号 平成28年度第2回理事会議事録の確認について 議案第1号 平成28年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 特別養護老人ホームいいたてホーム厨房系統空調設備改修工事請負契約の締結について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会評議員の選任について
第4回	8月1日	7	2	議案第1号 社会福祉法人いいたて福社会理事長の選任について
第5回	12月20日	6	2	報告第1号 平成28年度第3回理事会議事録の確認について 報告第2号 平成28年度第4回理事会議事録の確認について 報告第3号 諸事業報告について 議案第1号 特別養護老人ホームいいたてホーム外装修繕工事請負契約について 議案第2号 いいたてホーム送迎車両購入契約の締結について 議案第3号 不動産の取得について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福社会育児・介護休業等に関する規則の一部変更について 議案第5号 社会福祉法人いいたて福社会定款の変更について 議案第6号 社会福祉法人いいたて福社会評議員選任・解任委員会運営規則を設けることについて
第6回	平成29年 3月6日	7	2	報告第1号 平成28年度第5回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 社会福祉法人いいたて福社会評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第2号 社会福祉法人いいたて福社会評議員候補者の推薦について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会評議員選任・解任委員会の招集について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福社会やまゆり子育て支援センター処務管理規程の廃止について 議案第5号 社会福祉法人いいたて福社会文書取扱規程の一部変更について 議案第6号 社会福祉法人いいたて福社会印章取扱規程の一部変更について 議案第7号 社会福祉法人いいたて福社会防火管理規程の一部変更について 議案第8号 社会福祉法人いいたて福社会に就業する職員の就業時間等に関する細則の一部変更について

回数	開催日	出席(人)		内 容
		理事	監事	
第7回	3月27日	6	1	報告第1号 平成28年度第6回理事会議事録の確認について 議案第1号 平成28年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 平成28年度社会福祉法人いいたて福祉会事業計画(案)について 議案第3号 平成28年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支予算(案)について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会経理規程の一部変更について 議案第5号 特別養護老人ホームいいたてホーム設備機器保守点検委託契約について 議案第6号 特別養護老人ホームいいたてホーム職員宿舍修繕工事請負契約について

## (2) 評議員会の開催状況

回数	開催日	出席(人)		内 容
		評議員	監事	
第1回	平成28年5月24日	12	1	報告第1号 平成27年度第3回評議員会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成27年度社会福祉法人いいたて福祉会事業報告について 議案第2号 平成27年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支決算について 議案第3号 平成28年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について
第2回	7月25日	13	2	報告第1号 平成28年度第1回評議員会議事録の確認について 議案第1号 平成28年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 特別養護老人ホームいいたてホーム厨房系統空調設備改修工事請負契約の締結について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福祉会理事の選任について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会監事の選任について
第3回	12月20日	12	2	報告第1号 平成28年度第2回評議員会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 特別養護老人ホームいいたてホーム外装修繕工事請負契約について 議案第2号 いいたてホーム送迎車両購入契約の締結について 議案第3号 不動産の取得について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会育児・介護休業等に関する規則の一部変更について 議案第5号 社会福祉法人いいたて福祉会定款の変更について 議案第6号 社会福祉法人いいたて福祉会評議員選任・解任委員会運営規則を設けることについて
第4回	3月27日	13	1	報告第1号 平成28年度第3回評議員会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成28年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 平成28年度社会福祉法人いいたて福祉会事業計画(案)について 議案第3号 平成28年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支予算(案)について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会経理規程の一部変更について 議案第5号 特別養護老人ホームいいたてホーム設備機器保守点検委託契約について 議案第6号 特別養護老人ホームいいたてホーム職員宿舍修繕工事請負契約について

## (3) 監事会の開催状況

開催日	出席(人)	内 容
平成28年5月17日	監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度社会福祉法人いいたて福祉会事業報告について</li> <li>・平成27年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支決算について</li> <li>・理事会及び評議員会議事録について</li> </ul>

### ・役員研修等

- 関係機関が主催する役員研修会に参加(平成28年度研修一覧参照)
- 県等主催の役員研修に参加(平成28年度研修一覧参照)

## 1. 基本方針について

震災から6年、状況は一変したものの、当ホームでは、ご利用者や職員が共存している「生活の場」として、当たり前“普通の生活”が過ごせるよう、日々のケアでも、「馴染み」と「馴染み合い」に一線を置き、一人ひとりに向き合ったケアに取り組んできました。

### 1) 職員一人ひとりの意識を高めていく

普段行っているケアを、職員の体力に合わせながら、安全な介助が行えるようケア会議等で見直してきました。

特に本年度は、介助者の腰痛等の負担軽減を目的に、介護ロボット（マッスルスーツ）に期待を込め試用。結果、現場の声として「金具や固形物のご利用者にとってリスクとなること」「背負うことで職員への荷重がかかること」「装着時とっさの動作に対応できない」等の意見があり、改良の必要性が多々あることから、現在、介護ロボットは活用できず、移乗介助等のケアは二人対応で行っています。

### 2) ご利用者に向き合う

- ① 認知症状に対しては、理解を深めると共に、個々にあったケアを継続できるよう、変化がある度、ケア会議や勉強会等で検討してきました。（日頃から変化に気付けることの重要性を発信。「いつもだから」との意識低下を防ぐため、毎月の標語に理解を深める等を掲げ、気付けるようにしてきました。今後も職員が自ら気付けるよう意識向上に努めていきたい。）
- ② 重度化のケアについては、突然の疾病や高齢化と共に身体機能の低下、認知症状の重度化となり、日々の生活が大きく変わった方もおりました。如何に苦痛なく安楽な生活が送れるのか、「食事」「排泄」「入浴」のケアを主に、多職種間の連携を図りながら、寄り添えるケアに取り組んできました。

また、「自立支援」への取り組みも同時に行い、日々の生活リハビリを取り入れ、今行えていることへのサポートや、生活にメリハリや楽しみを見出せるよう取り組んできました。

そして、唯一楽しみとしている「食べる」ことに対し、厨房職員の協力を得、ソフト食を取り入れることができました。（キザミ食やミキサー食では、とても美味しそうには見えず食欲をそそりません。ソフト食は、調理に手間がかかりますが、食材一品ずつが、何の食材を食べているか分かり、また、盛り付の工夫で、彩も楽しめる食事を提供することができました。

これからも、ご利用者の目線で、当たり前普通に過ごせることを目指して行きたい。）

### 3) 暮らしに寄り添う

家族とゆっくり語らえるような環境を整えることで、少しずつ、ご家族の面会も増えてきています。（避難区域だからと面会が遠のいていた方でも、ご家族の時間を取り戻せるよう、家族との信頼関係を深め、日頃の様子や施設の現況等を面会時に話すようにしてきました。）

また、ボランティアの受け入れにも考慮。（長時間の歌や踊り等を見ていることが、体力的に負担となってきている方が多くなってきており、現在、入居している方の体力等に沿った内容のボランティアの方だけ受け入れをさせて頂きました。）

## 2. 具体的な取り組み内容

### ① 職員会議

年月日	議 題 ・ 内 容
H28.4.28	今年度の事業計画（ホーム、厨房、各家） 各委員会より活動計画（口腔、入浴、排泄、リスクマネジメント、感染症対策）
5.26	各委員会～排泄委員会（プライバシーの尊厳について）、リスクマネジメント（アクシデント集計、ヒヤリハット報告）、感染症委員会（食中毒について） 研修報告～「社会福祉施設等職員初任者基礎研修」 高野拓巳
6.23	各委員会～口腔ケア委員会（パタカラ体操について）、排泄委員会（スムーズな排泄コントロールについて他）、入浴委員会（菖蒲湯と温泉ツアーについて）、リスクマネジメント（アクシデント集計報告、移乗勉強会について）、感染症委員会（熱中症予防強化月間について） 研修報告「キャリアパス制度理解研修」小林明美、「実習指導者講習会」菅野明洋
7.28	各委員会～排泄委員会（ベッド上での安楽な体位について）、リスクマネジメント（服薬マニュアルについて）、入浴委員会（温泉ツアー実施報告）、感染症対策委員会（食中毒について） 研修報告「ユニットリーダー研修」佐藤祐子、斉藤 伸、「中堅者職員研修」佐藤 恵
8.25	各委員会～排泄委員会（安楽体位勉強会報告）、リスクマネジメント（アクシデント集計報告・誤薬予防マニュアル）、入浴委員会（お風呂の日について他）、感染症委員会（熱中症について）、口腔ケア委員会（歯科衛生士による指導について） 研修報告「老人福祉施設職員研修」森永淳志、「キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修」高野拓巳
9.29	各委員会～口腔ケア委員会（洗口液使用実績について）、リスクマネジメント委員会（アクシデント集計、内出血予防）、アクシデントのマネジメントについて）、排泄委員会（福祉用具使用方法・パットの選定について）、入浴委員会（お風呂の日について）、感染症対策委員会（感染対策について）、 勉強会 ～介護ロボットの説明・・・菊池製作所
10.27	各委員会～入浴委員会（お風呂日開催について）、排泄委員会（パットの吸収と吸収量の勉強会）、リスクマネジメント（上半期アクシデント集計、フレックスボードの使い方）、感染症対策委員会（インフルエンザ予防対策について） なんでも勉強会（医務室）救急勉強会 研修報告「ユニットリーダー研修会 24Hシートの作成と活用」高橋真由美 高野智子
11.24	各委員会～感染症対策委員会（ノロウイルスについて）、入浴委員会（入浴シートの見直し、お風呂の日について）、排泄委員会（排泄バックの使用・パット一覧の見直し） 口腔ケア委員会（口腔ケアのワンポイントアドバイス）、リスクマネジメント（アクシデント再発防止対策シートについて、アクシデント集計について） 勉強会 ～ マッスルスーツ説明会
12.27	各委員会～入浴委員会（お風呂の日実施報告・入浴シートの見直し）、感染症対策委員会（ノロウイルス・インフルエンザ対策の実技）、排泄委員会（アセスメントシートの見直し、介護用品表の作成）、口腔ケア委員会（パタカラ体操、口腔ケア用品の見直し）、リスクマネジメント（申し送り表の作成、アクシデント集計、今月の標語について） なんでも勉強会（介護） その人らしい生活のための「個別ケア」
H29.1.27	各委員会～感染症対策委員会（吐物処理方法について）、リスクマネジメント（マッスルスーツ勉強会、アクシデント集計について）、排泄委員会（排泄勉強会、アセスメントシート一覧表について）、入浴委員会（入浴アセスメントについて）、口腔ケア委員会（新パタカラ体操について） 研修報告～「高齢者施設における口腔ケアの基礎研修会」菅野ミサ子 菅野麻美
2.23	各委員会～感染症委員会（バランスの良い食事について）、入浴委員会（特浴掃除と今年度の反省）、口腔ケア委員会（パタカラ体操、歯科衛生士指導について）、排泄委員会（排泄用品の選定、プライバシーについて）、リスクマネジメント委員会（マッスルスーツ勉強会、アクシデント集計） 研修報告「ユニットリーダー研修」 高橋真由美 高野智子
3.26	各家の取り組みと1年間の生活報告、厨房会議報告、各委員会より事業報告 事務より「平成 29 年度介護報酬改定の概要について」
	※ 毎月、各家の取り組み、厨房会議報告会を実施

## ② 家長会議

現状の業務内容や勤務体制の見直し等。直面した問題に、現場レベルで話し合う事により、より具体的な内容となっていた。

開催日	内 容
H28.4.7	年間活動計画について、委員会担当について、年間行事について、ケース記録、日誌について、家族会総会について
5.20	日誌入力について、ユニットケアについて、環境整備について、各家の食事形態一覧について（栄養士より）
6.17	行事（七夕・納涼祭）について、ユニットケアについて
8.1	納涼祭について、研修報告「アサーティブの考え方について」森永淳志
9.11	敬老会について、ユニットケアアンケート取りまとめについて
10.24	芋煮会・コンサートについて、ソフト食について、24hシートについて
12.6	年末年始の行事について、ユニットケアについて、防災マニュアルについて、研修報告「24hシートの活用」高橋真由美 高野智子
H29.1.26	防災マニュアル作成について、ケース記録の確認、申し送り表について
3.9	ユニットケアの反省、環境委員会の反省、行事委員会の反省

## ③ 行事

高齢化や重度化に伴い、以前のような行事を催すことは困難でしたが、体調に合わせ、参加型から雰囲気味わって頂く内容へ方向転換。その場を盛り上げる内容にするため思考を凝らし「見て・聞いて・味わって・触れられる」五感を重視してきました。

月日		内 容	場 所	参加者
4.11	花見外食ドライブ	花見と、相馬・鹿島出身の方の自宅周辺の見学に出掛けました。当日はご家族の方の案内で地元を懐かしそうにしていました。昼食は、道の駅で、お弁当を頂きました。	相馬市・南相馬市「セデッテ かしま道の駅」	16名
4.19	花見外食ドライブ	花見を兼ねてご自宅周辺をドライブ。村内は大雷神社と伊丹沢の復興桜を見てきました。	村内	10名
4.29	家族会総会 花見昼食会	今年は、多くの家族の出席があり、総会后、厨房手作りの花見弁当を囲み各家でご家族と共に交流を深めました。	各ユニット	全員
5.26	外食ドライブ	西棟利用者が川俣町へ外食に出掛けました。事前に注文していたメニューは、普段とは違う雰囲気味わいました。	川俣町「吟哉」	8名
7.7	七夕昼食会	西棟ホールで昼食会を行う。厨房職員が目の前で、天ぷらを揚げ、そうめんを茹でたものを見ながら美味しく頂きました。	西棟ホール	全員
7.12	温泉ツアー	「きこり」のご協力により、定休日にお風呂入りに行きました。昼食は厨房手作りの弁当を持参、のんびりと温泉気分を味わっていました。	飯舘村 きこり	24名
8.19	納涼祭	利用者や職員も浴衣や甚平に着替え、盆踊りや屋台での食事、また、食後には、前庭にて花火を観覧し、居室に戻る際、皆で作った灯籠や行燈に灯りを灯し、廊下いっぱい広がった幻想的な道を通して戻るなど、お祭りの雰囲気を楽しんでいました。	東棟ホール（玄関、廊下）	全員
9.18	ホーム敬老会	今年は、外内手踊り保存会有志による踊りの披露があったり、職員からの大黒舞やギター演奏等も飛び出し賑やかに祝いができました。	西棟ホール	全員

9.22~ 24	お風呂の日	入浴委員会主催（お風呂の日を設定）により、全国の温泉入浴剤を各家の個浴に入れ、外出しなくともいつもとは違った匂いや色等を楽しみながら、浴槽にはバラの花びらを浮かべたりと、とてもリラックスして入浴していました。	全ユニット	全員
10.13	出張料理 屋台ラーメン	厨房職員がホール出向へき、屋台風「醤油・味噌、とんこつラーメンや餃子を作り、自分が食べたい味のラーメンを召し上がりました。	西棟ホール	全員
10.30	文化祭	日頃から作っていた貼り絵や手芸ケーキ、バック等50点を村文化祭に出品したところ「県老人クラブ会長賞」に輝きました。出品した方と外出可能な方で表彰式に出席し、また、文化祭も楽しむことができました。	飯舘村交流センター	9名
11.3	芋煮会	今年はボランティア（ピアノ、歌等）によるミニコンサートを鑑賞し、その後、餅つきやおでん、のり巻き、餡餅、汁餅等を口いっぱい頬張りながら楽しく交流を図りました。	東棟ホール	全員
11.26	出張販売	業者がホームへ出張販売に来所。店同様に配置して頂き、自分の服を見て選び、思い思いの服を買うことができました。	西棟ホール	
12.25	クリスマス会	ご利用者がサンタの帽子を身に着け、ハンドベルの演奏を楽しみ、昼食には鶏の丸焼きを皆の前で切り分けられ、とても喜んでいました。	西棟ホール	全員
12.28	もちつき	3升のもち米を臼と杵でつきました。ご利用者も千本杵を持ち参加。つきあがった餅は、お正月のお供えと、昼食にあんこ餅・じゅうねん餅・からみ餅・汁餅等にして頂きました。	西棟ホール	全員
1.2	新年会	新年の顔合わせとして、挨拶後、職員の大黒舞や二人羽織り等の余興で新年の初笑い。昼食は、お祝い膳を美味しく頂きながらゆっくり寛いでいました。	西棟ホール	全員
1.14	だんごさし	色とりどりの団子を丸める人、茹で上がった団子をさす人等、季節感を楽しむことができました。	西棟ホール	
2.3	豆まき	節分の日に、今年の年男年女に豆まきをして頂きました。ベッド上で休まれている方が多いため、居室にも出向き、豆まきを行い、春が近づいていると感じていたようです。	各ユニット	全員
3.3	ひなまつり	ホールに飾られたひな壇の前で着物を羽織り記念撮影、また、厨房職員が目の前でお寿司を握り、配膳された寿司を微笑んで頬張っていました。	西棟ホール	全員

### 3. 1年を振り返って

震災前の11ユニットから、現在は6ユニットとなり、入居者も120人から34人に。各ユニットを満床にするには未だ余裕があるものの、年々職員の年齢層も高くなり、同時にご利用者の介護度も重度化していることから、安全を考慮し二人対応の介助者が多くなり、より一人に係る時間が増えてきている状況です。

また、コミュニケーションや味のある会話は、決して褒められた言葉遣いではありませんが、馴染みの言葉は優しさが伝わっているように感じています。

当ホームは、機械を使わない“人の手の温もりで介護を”との方針で続けてきましたが、今後、年を重ねて行くにつれ、職員の身体も守らなければならないため、活用できる福祉用具の選定を考えなければなりません。

これからも、“当ホームならではの”の思う気持ち、寄り添ったケアを大切に、職員一人ひとりが高い意識を保ちつつ、施設内で「家族」のように過ごせる関係づくりと、笑顔が見られるケアをしていきたいと思えます。

## 1. 生活全般について

職員の異動に伴い、個々のケア内容を確認することから始まりました。戸惑いながらも優しい声かけや気配りをする事で、居室にこもる事もなく普段通りに過ごせ、体力低下などもなく乗り切ることができました。

意思疎通が難しい方が、突然の体調不良により入院となってしまいました。その後、経管栄養となり帰ってきました。以前のように戻れないかと、頻繁に声かけやジェスチャーで対応してきた結果、1ヶ月過ぎたころから自力で食べて頂くことができるようになりました。ただ残念なことは、ご家族の方に理解されなかったことです。

また、突然の発熱で私とも驚かされた方がおり、その度に、家族の方が面会に来られ、帰り際に「おらいの父ちゃんどうなんだべ」と心配しながら帰られる。散髪も殆ど息子さんが手掛けるなど、忙しいながらも愛情をもって接しているんだなぁと感じられたこともありました。

ある家族の方は、食欲が落ちそうな時期を見計らって面会に来て下さいました。ご家族の顔を見ただけで、笑顔となり食欲が増すなど何よりの御馳走となっています。

ベッドの上で過ごされる方は、一日の過ごし方を工夫することで、声かけ時に返ってくる笑顔に私達もどれだけ救われたことか。

最高齢の方は、今でも縫物が好きで、秋の文化祭に出展したところ賞を頂きました。

これからも長生きできるようお手伝いできればと思っています。

## 2. 食事・入浴・排泄について

### <食事について>

高齢化が進みADLの低下で食事摂取も難しくなっている方の状態を把握し、一人ひとりの食事形態の見直しと摂取状況に合わせ、場合によってはトロミ剤を使用するなど、安心して食べられ、意欲に繋げようと随時検討と工夫をしてきました。

また、体重の増減を伴う方については、食事摂取量表などを作成し、食事量や内容の調整を行い、その人の好みや摂取方法もつかむことで、無理のない介助や支援ができるようになったと思います。

### <入浴について>

個々に合った入浴用品（シャンプー・ボディーソープ・入浴剤等）に変更することで、皮膚が弱く内出血ができやすい方の予防に繋がった。また、体調に合わせ入浴が負担にならないよう2人介助で対応してきました。課題として、季節感を感じられる浴室の飾りつけや環境を、もう少し整える事ができたらと思います。

### <排泄について>

皮膚トラブルを防ぐため、日頃から肌の観察を行い、個々に合ったパットでも今の状態に合っているのかその都度見直しをしてきました。また、体調に合わせた排泄介助の入り方を行うことで、良い排泄ケアができたと思います。

プライバシーの面から、大きな排泄バックの使用は控えるなど、介助方法のマニュアルを定期的に見直していきたいと思います。

### 3. 家内のユニットの取り組みについて

ADLが低下しても、その人らしく過ごして頂くため様々なことに取り組んできました。気分転換を目的に、春と秋に買い物や外食を実施しました。このことで日頃とは違う食に対しての意欲を感じ取ることができました。

居室で過ごすことが多い方には、少しでも快適に過ごして頂きたく、ベッドをフロアに移動したり、一緒にテレビ鑑賞やコミュニケーションを図ることで、声掛け時に良い表情を見ることができました。

体調の変化により寝具の調整や空調管理に努めたり、拘縮がある方に対しては、ポジショニングの勉強会を行い、試行錯誤しながら、いち早く対応したことにより、現在、良い状態で過ごす事ができています。

毎日の体調を見ながら、少人数でもレクへ参加することにより、メリハリのある生活を送って頂く事ができたと思います。

食後の口腔ケアでは、長年舌苔の汚れが蓄積され、なかなか取れなかったものの、歯科衛生士の指導や口腔ケア用品を根気よく続けることにより、今ではとても綺麗になり、本人も「うずぐしいな」と言われるほど満足されています。これらは職員の努力の賜物だと思います。

我が家では、ユニットケアの手法を用いながら24時間シートを目安とし、自分達の考えるやり方でケアを実践してきたのが“いまのスタイル”であり、自然に対応できるケアができたのだと思います。

課題としては、休日後の出勤時、ケアが変わっていることもあったことから、申し送りノートをもっと少し有効に活用できたら良かったと思います。

### 4. 行事等の取り組みについて

毎月のように行事があり皆さん楽しむことができました。

特に納涼祭では、浴衣や甚平などを着て祭りの雰囲気味わって頂きましたが、準備に手間取り、一緒に楽しむ時間が短かったように感じています。

芋煮会では、美味しい料理を囲みながら、皆さんと一緒にゆったりと過ごす事ができ、とても満足されていました。

誕生会では、ご家族にも参加して頂くことで、普段とは違う笑顔が見られ、ほのぼのとした光景を見ることができました。

### 5. 1年を振り返って

何事もなく、この一年を過ごせた事が最大の喜びです。

これからも、体調や精神面に合わせたケアや、積極的なコミュニケーションをとりながら、沢山の笑顔が見られるようなケアをしていきたいと思っています。

今後、難しいケアが増えてくると思いますが、“この人にとっての楽しみとは何か”を考えながら支援していきたいと思っています。

## 1. 生活全般について

「笑顔で始まり、笑顔で終える日々の暮らしの中でも変化を見逃さず、ここで良かったと思って頂けるような時間を共に作る」を目標として始めました。

何気ないボディータッチは気持ちを緩やかに、視線を低くすることで笑顔が見られました。私たちも「今日はこんな会話で笑ったよ」と嬉しくなる。そんな日々、一人の方に体調変化が見られ、「7月の誕生日は迎えて欲しい」と思いながらのケアでした。息子さんや沢山の孫、ひ孫が来所された時は笑顔になり、家族に囲まれながら誕生会を迎えることができましたが、新しい年を迎え、悲しいお別れになりました。

また、精神面のケアを要する方とは、申し送りを密に、看護師や栄養士との連携が必須となりました。

一日数十回ともなる排泄欲求の言葉には、職員から余裕を消し去り、表情に硬さが出て、少し言葉がきつくなってしまった事もありました。

その人がその人らしい生活を送って頂くには、どうしたらできるだろうかと毎回ケア会議で幾度となく話し合いました。昼寝でもカーテンを閉めて欲しい方、ご飯を早々に終え「ここが痛いんだよな」と訴える方、「気に掛けて欲しい・まだ食べたいな」との心の訴え、其々の思いが何らかの形で私たちに訴えてきました。

例え、仕事にずれが生じると云えども、そのことを理由に無理に起こしてしまうことは、ユニットケアではない。

この1年間、職員が其々努力し、得意分野を十分に活かすことで喜んで頂いたことや、その人らしい生活を送れるようにケアに当たってきたこと、逆にもっとできたのではないかと思う気持ちなど、これからも後悔しないケアを継続していきたいと思えます。

## 2. 食事について

個々に合わせた食事形態の提供や、メニューによっては食べ易いよう目の前で箸を入れるようにしたり、早食いの方への対応など、その都度会議等で話し合い改善してきました。

水分量が少ない方に対しては、大好きな味噌汁にお湯を増し、幾らかでも水分を摂って頂いた。また、食事の姿勢、トロミの調整、食事メニュー内容により食器の使い分け、盛り付け方などの工夫に心掛けてきました。

家料理に関しては、機能低下により一緒に楽しむ機会が少なくなってしまう事と同時に、外食の場を設ける事ができなかったことから、少しでも外食気分を味わえるよう「ぬくもり食堂」を開店してみました。事前に食べたいメニューを聞き取り、器や設えを工夫、食堂で提供される1人前のボリュームにすることで、目でも感じられ、職員共々楽しみました。

また、楽しんだ後の口腔ケアも大切。まだ歯の残っている方も多く、歯周病による口臭を、「どうしたら消えるんだろうか」との思いで、時間をかけてのブラッシングや歯間ブラシを丁寧に行い、洗口液も使い口腔内を清潔に保つ等、職員一丸となり取り組んできたことにより、食欲増進にも繋がりました。

### 3. 排泄について

排泄チェック表は、排泄のことだけでなく、夜間帯の入眠確認や体調の変化の記入により、棟内職員間で状態把握することに役立ててきた。

下剤の量、服用時間など、様々な条件で負担がかかることから、看護師と連携、申し送りの徹底を今後も重視して行きたいと思います。

トイレでの排便や、臀部の清潔を保つことは褥瘡予防となっている。そのため職員は、個々の状態を踏まえ、負担にならないような介護用品を用い継続して行きたいと思います。

排泄確認に関しては、大切だからと思う気持ちが優先してしまい、「今日出た、どのくらいだった」と安易な言葉が周囲に聞こえてしまい、不快感を与えてしまったのではと思われ、言葉遣いには十分気を付けなければならないと思いました。

### 4. 入浴について

家会議等で統一したケアに当れるよう一人ひとりの入浴方法を確認。「風呂 寒くて嫌だなあ」との言葉が聴かれれば、入浴前に部屋を温風機で暖めたり、楽しんで入浴して頂くため入浴剤を使用することで「あ～良い匂い」と喜んで頂け、また、音楽を流し一緒に口ずさむことで、ゆったりとした入浴時間が作れたのではないかと思います。

“お風呂で季節を感じて頂く”ことを委員会で企画し、菖蒲湯やゆず湯等、また、趣きを変え、「きこり」に出向いての入浴は、いつもの表情とはまた違った一面が見られました。

入浴後の保湿ケアとして、クリームを手にとると「こんなのつける事ないんだ」と言われる。「これをつけると更に若くなるよ」と笑いを交えるなど、楽しく快適にケアすることができたと思います。

### 5. 行事の取り組みについて

ホーム全体での行事や午前のレク、家独自の誕生会、他の家とのコミュニケーションなど積極的に参加してきました。

行事食では美味しい食事を目の前に、ついつい大口になり笑ってしまったり、誕生会では職員其々の得意な事を披露し共に楽しみ、厨房の手作りケーキを嬉しそうに頬張り、誕生カードで喜んで頂いたり、これからも何か思い出に残せる事があればと思っています。

### 6. 1年間を振り返って

職員の平均年齢が高くなると同時に、身体の衰えが目に見える。ご利用者の介護度が上がればケア時間も多く要しますが、今後、ホームが更に前進するには、向上委員会で取り上げて頂き、もっと盛り上がる事を期待したいです。

この1年間、言葉遣いや、訴えに対し平常心で返事ができない自分がいたことに反省させられたこともあり、改めて言葉遣いの大切さを考えさせられた年でもありました。

職員の名前でも「たっくん、めぐちゃん」と親しみのある呼び名や、可愛い職員の名前は憶えて頂いたが、年配の職員には「なんだっけ、顔は見た事あんだけど」で、話は終わってしまいますが、親しみや頼れることが精神面の支えになれることではないかとも思います。

これからも、自分に余裕を持ち、共に楽しむ時間が作れるよう心掛けて行きたいと思います。

## 1. 生活全般について

ご利用者の体調の変化が著しい1年でもありました。

今まで耳だけを頼りに生活をしていた方が、白内障の術後、両目が見えるようになり、目と耳の両方から沢山の情報が同時に入ることで“見える”喜びは大変なものでした。

また、個々の不安が大きい時には、看護師の協力を頂き“何を訴えて”“何をして欲しいのか”理解に努めてきた結果、把握できるようになったのは夏も終わりに近づいた頃でした。

自分から言葉を発せる方に対しては、その都度対応できていても、自分から言葉を発し訴えることのできない方に対し、しっかり対応できていたのかと問われれば、胸を張って「できていた。」とは言えませんでした。

毎日の関わり中で、何らかの兆候を事前にキャッチし、防げることもありましたが、見逃してしまったために対応が遅れてしまったと云う場面もあったように思い、これらを反省し次に繋がられるような、より良いケアになればと思います。

高齢に伴い、日を追うごと、心身共に不調が現れることが容易であるため、日々の情報を共有すると共に、各部署が連携して沢山の目で見つめながら“チームワーク”で取り組み、毎日元気に笑顔で長生きして頂けるよう努めて行きたいと思います。

## 2. 食事について

“最期まで自分の口からいっぱい食べて欲しい”と云うことを大切にしながら食事のケアに努めてきました。

高齢に伴う体力低下により口から食べる事のできない方に対しては、ケア会議を開き、看護師や栄養士の協力を得、体調に合ったものを数週間お試し期間を設け、本人の状態に合っているかどうかを確認しながら提供してきました。

また、経管栄養対応の方でも、体調が徐々に回復され、現場スタッフ間で、もしかしたら口から食べられるのではとの思いで、ご家族や看護師、スタッフが協力することで、現在は自分で食事を摂ることができるまでになりました。生命力の強さを感じた瞬間でもありました。

次年度も、一人ひとりと向き合いながら、少しでも口から美味しく食べて頂けるような環境づくりに努めていきたいと思います。

## 3. 排泄について

排泄委員を中心に家会議などで、季節や尿量に応じパットの見直しをしてきた。

尿臭軽減のため衣類やラバーシーツの洗濯など、毎日行うようにしてきた結果、尿臭を軽減することができました。

また、下剤服用者の見直しや、排便時に不穏にならないよう時間を決めてトイレ誘導（排尿等チェック表を活用）に努めてきました。

#### 4. 入浴について

個々に合った入浴形態や入浴方法などの見直しを行ってきました。

また、皮膚トラブルを未然に防止するために、保湿クリームや入浴剤を活用し肌のケアに努めると共に、皮下出血のおそれのある方には、肌保護のためのクッションやムートンを使用し、未然に防げるよう工夫してきました。

今後も快適で安全・安心して入浴できる環境づくりを行って行きたいと思います。

#### 5. 行事について

体調などを見ながら、できる限り行事やレクリエーションなどに参加して頂きました。

また、朝のラジオ体操や昼のパタカラ体操、夕の食前体操など、浸透しつつあることから、今後は、習慣になるよう積極的に取り組んでいきたいと思います。

#### 6. 1年を振り返って

震災前のあの賑やかだったいいたてホームの風景が今はとても遠いことのように思います。

今のこの現状を誰も予想しえなかったことと思います。戻れるならあの頃に戻りたいと思っても、もう戻れない。

今はしっかりと現実を見つめて前に進むしかありません。いいたてホームにとって今年こそが本当の意味での正念場の年だと思っています。

## 1. 生活全般について

今年度の家目標は、「ご利用者としっかり向き合い、できる事、やりたい事を大切にし、個々に合った生活を送って頂く」でした。

せせらぎの家では、朝のラジオ体操から始まり、レクリエーション、食前体操と心身機能維持に努めてきました。

居室で過ごすことの多い方へは、なるべく離床してレクリエーションに参加して頂き、賑やかな雰囲気だけでも味わって頂いたり、音楽を聴いて過ごして頂いたりと環境作りに気を配りました。

足の血行不良の方には、足浴を行い悪化防止に努めてきました。また、浮腫みのある方には、メドマー等を施行したところ、よほど気持ち良かったのか、いつ頃からか、次は「私の番だ」と思うようになり、それが日課となりました。

また、新たに入居された方で、地元に戻って来られた嬉しさと、近所の方が数名居た事で安心感の中で生活を送る事ができたようでした。自分の中でも心の安らぐ職員がおり、顔を見るととても良い表情をされる事もあります。更には、自分の思いを語ってくれる等、信頼関係を築けたように思います。

せせらぎの家の大半が90歳以上と、高齢なことから、日頃の状態を観察して行くことが重要でした。看護師をはじめ多職種と連携の下、事故等もなく個々に合わせたケアを提供できたのではないかと思います。

これからも利用者本位の考えを継続していきたいと思います。

## 2. 食事について

「口から食べる事」の大切さを念頭に置き、できるだけ経口摂取に努めてきましたが、徐々に体力も衰え経管栄養となってしまった方もおりました。

食事形態では、超刻み食からソフト食に変更して頂いたことにより、見た目の良さでも食欲をそそる事ができたと思います。

浮腫みや体調変化のある方には、看護師や栄養士等の専門分野と情報を共有しケアに当ること、栄養のバランスがとれ、体調の維持に繋がりが良かったと思います。

課題として、超刻み食やソフト食は、常食と違い一目で何の料理か分からないため、配膳する時に、一人ひとりに説明する事を心掛けたいと思います。

食前の「パ・タ・カ・ラ」体操は、職員同士で協力し皆さんに提供してきました。職員が声を出すことで、皆さんも声を出してくれ、食事前のほどよいお口の体操となっています。

また、美味しく食事を摂って頂こうと口腔内を綺麗にしてから、フロアへ移動しました。これからも、少しでも口から美味しく食べられる環境作りに努めて行きたいと思います。

経管栄養の方の口腔内のケアも、乾燥予防としてオリーブオイルを使用するなど、経口摂取ができなくとも口腔内はいつも清潔でいられるようケアに努めていきたいと思います。

## 3. 排泄について

今年度はプライバシーを重視する目的で、各トイレやタンスに、その日に使用する清拭タオルや洗浄ボトルを準備、トイレには汚物入れのバケツを置くなどの工夫で、手ぶらで居室に入り排泄交換をしても、誰にも気付かれないでケアできたことは、せせらぎの家の大きな進歩でした。

尿臭のきつい方のズボンやパジャマ、ラバーなどは毎日洗濯し臭いも軽減されました。また、個々に合わせ消臭予防、抗菌作用のあるパットの使用により尿臭軽減にも努めてきました。

排便コントロールが困難な方については、以前、夕方に薬を服用し朝方排便していましたが、夜中安眠できていない事から、服用を朝に変更して頂き様子を見て来たところ、今では午後一番位に排便が見られるようになり、夜中も安眠できるようになりました。

皮膚トラブル防止については、パット等を随時見直し、排泄交換時は洗浄のほかローションやワセリンを塗布、皮膚の保護に努めてきました。

今後もプライバシーを重視し、少しでも負担なく排泄ができる環境を作っていきたいと思いません。

#### 4. 入浴について

高齢化や重度化により、皮膚も弱く、入浴後の内出血が度々見られました。特に、でき易い方には慎重に洗身や着脱をするように心掛けました。それでも着脱のため挿んだ時や衣服を脱ぐ時に摩擦ででき易いため、焦らずケアすることに心掛けました。また、バスチェアへの足元のベルトの下にはムートンを当てるなど試み、ベルトによる内出血予防に努めました。

次年度は、更に内出血予防として、写真付きのマニュアルを準備し、皆さんに注意喚起できるようにしたいと思います。

スキンケア対策として、個々に合ったボディソープ、入浴剤、ローション、ワセリンを使用したところ、肌に潤いが保てました。また、入浴前にオリーブオイルを頭に塗り、洗髪をする事により頭の老人性脂漏性湿疹も改善できました。

今後も安全で快適な入浴ができるよう話し合い、各家にも周知するようしたいと思います。

#### 5. 行事の取り組みについて

行事取り組みの中で、外食ドライブ（セデッテかしま）、七夕会、温泉ツアー（きこり）、納涼祭、敬老会、ミニ運動会&芋煮会等、季節に応じた沢山の年間行事を行う事ができ、参加した皆さんの笑顔を沢山見る事ができました。特に納涼祭では、共に灯籠作りを楽しみ、きこりへの温泉ツアーでは、温泉気分を満喫され大変喜ばれていました。

また、厨房職員が家料理に参加してくれ、ご利用者と一緒に材料刻みから調理までして頂き、楽しく食事を頂けたことも良かったと思います。

家料理で秋の行楽弁当を作り、ホーム内ではありましたが、景色の見える場所で、季節を感じられるセティングを行い、弁当を楽しみました。食事形態は様々で、皆さんが食べられるようなおかずを作り、ペースト食やソフト食の方には小鉢を利用するなど、美味しく見えるよう盛り付けし提供したところ、見た目でも味でも満足され皆さん完食されていました。

今後も、細やかな作業ができる方も少なくなってきましたが、その中でもできることを大切に、楽しく生活を送れるよう工夫していきたいと思います。

#### 6. 1年を振り返って

職員の異動により、信頼関係を築くことから始めました。初めの頃は、避けられ、自然に苦手意識を持ち距離を置くようになり、ある日、「茶碗ばかり洗ってないで、こっちに来てテレビでも見ろ」と話しかけられ、業務優先になっていた事に「はっ」と気付かされたと言う職員もあり、寄り添うことがいかに大事か考えさせられました。

今年度も、一人ひとりへの関わりを重視しケアに当たってきたところ、笑顔も見られ、発語も多く聞かれました。また、こだわりの強い方への関わり方として、危険な行動をしない限り遠目で見守りを行い、自由に過ごして頂いたところ、精神的にも安定し穏やかに過ごされていたように思います。

少しでもできる事を大切に、目標を持つことで楽しく過ごせ、自信にも繋がり、結果、充実した生活を送れたようにも思います。

職員の言動や行動は、ご利用者に大きく影響するので、常に穏やかな気持ちで接する事に心掛けてきました。しかし、自然に馴れ合いの言葉になってしまった事もあるので、今後は言葉掛けに十分注意をしなければならぬと思いました。

また、職員同士のコミュニケーションと多職種間との連携も、しっかり取れていないと統一したケアはできないことから、周知したい事柄は、文書を以て申し送りを徹底してきたところ、聞いていない、知らなかったと言うことが減り、今後も継続していきたいと思えます。

次年度も、気持ちに寄り添い、関わりを大切に、安心して生活が送れるようお手伝いをして行きたいと思えます。

## 1. 生活全般について

「日々のケアが変わる」が当たり前の一年でした。

家会議で個々のケア内容を話し合っても、次の日には容態が変化し、それに伴うケア内容も変わり、次の日にも更に違うケア内容に変更することとなったり、その状態に合ったケアに追いつくのが精一杯でした。

皆さん高齢な方々のため、基本的生活に関しては多くの介助や支援を要していますが、多職種との連携を密にすることにより、体力や健康を維持することができたと思います。

## 2. 食事について

- ・ 体調変化に応じ、栄養士・厨房・看護師との連携や情報の共有化により、個々に合った食事形態で召し上がって頂くことができたと思います。ただ、体調変化が著しい時等は「どのようにしたら良いか」を皆で考え、意見がぶつかることもありましたが、結果その方に合った食事を提供することができ、美味しく召し上がって頂いています。
- ・ 口腔ケアをしっかりと行っていたことから、口臭やトラブル等もなく口腔内状態も良いレベルで維持する事ができています。
- ・ 食前体操も職員が牽引し共に行ってきました。同時に、頬のマッサージをする事により唾液の分泌を促すこともできたと思います。
- ・ 自力摂取できる方が少なく、職員の声掛けや介助にて食事されていることから「食を楽しむ」については、難しかったのかも知れませんが、口から食べられる喜びはあったと思います。
- ・ 課題として、家料理がなかなかできなかったため、次年度は皆さんと楽しく作り、美味しく頂けるようにしたいと思います。

## 3. 排泄について

- ・ 家会議でしっかり話し合い、体調やレベル、尿量に合わせたパットを使用してきました。
- ・ 尿臭対策も前年度から引き継ぎ、尿臭の強い方の対応として、毎日リネン交換や衣類交換を実施。また、抗菌パットや消臭スプレー、陰部洗浄等を行い臭いの軽減に努めてきました。

## 4. 入浴について

- ・ 個々に合った入浴形態で、安全・安楽・安心な入浴を目指しました。介助方法に不安な時は、即、家内で話し合い予防に努める事により、大きな事故等も無く皆さんに喜んで入浴頂けたことと思います。
- ・ 拒否の強い方に対しては、早番の協力を得、好きな音楽を聴いて頂きながら安全に入浴して頂く事ができました。

## 5. 行事などの取り組みについて

- その日の体調を見ながら、行事・レクリエーション・ホームのドライブ等に参加して頂きました。
- ベッド上で過ごされている方も、フロアにベッドごと移動し、テレビを見たり音楽を聴いたり、体調が良い時は、離床し皆さんと一緒に行事や外部の方々と交流を楽しむ事ができました。

## 6. 1年を振り返って

- 高齢となり昨日までできていた事ができなくなっていたり、食事も思うように摂る事ができなくなってきました。  
日々のケアが変わることから、情報の共有や連絡ノートを欠かす事ができませんでした。また、休みの時でも体調不良の方がいると心配で、出勤時に真っ先に様子を窺いに行き、変わらないことが確認できると、ホッとする事もしばしばありました。
- 終末期の方に対するケアについては、十分に行う事ができたのだろうかと思う思いはありましたが、ゆっくりと急ぐ事なく日々の生活を過ごして頂けたかと思えます。
- 寄り添うケアに力を入れてきた1年であり、場面ごとに、色々と考えさせられる1年でもありました。

## 1. 生活全般について

個々の身体面や精神面を理解し、寄り添い、一人ひとりのニーズをしっかりと受けとめ、その都度、何が最善なのかを考えながら、思いやりのある心のこもったケアに努めてきました。

また、何でもかんでも職員が介助するのではなく、本人ができる部分は、声掛け促しながら、できない部分の支援を積極的に心掛け対応してきました。

脳内出血で入院された方が2週間で退院でき、職員一同安心したことを覚えています。しかし、退院直後は体力や機能低下も見られ、2週間でこんなにも様子が変わるものなのかと落胆しましたが、積極的に関わりを持つことで、徐々に表情も豊かになり、以前のような笑顔が見られるようになりました。

今後も、健康維持や生活リズムを整え、どのように対応をすれば良いか、職員間で話し合い、また、多職種の協力を得ながら今の生活を維持できるよう支援し、「あ～良かったな」と思われる“生活の場”を提供していきたいと思います。

## 2. 食事について

食事形態は違って、皆さん口から食べられる方々です。

粥だけど残される。粥だけど良く噛んで食べているなど、ご飯の形態を軟飯にしたり、食べやすい固さに調整したり、食欲がない場合は、手に持って食べられるようおにぎりに変更したりと、食べ易い形態にしたことで、消化不良や大幅な体重増減もなく経過しています。

また、キザミ食やペースト食からソフト食へと変わったことにより、以前と比べ、豊かな彩りや形となり、目で感じながら食べることができています。ソフト食のソースも良く、彩りや形を損なわずに盛り付けができています。ペースト食だった方も、スプーンですくえ食べ易くなりました。震災前のようにソフト食を再開して頂きとても感謝しています。

美味しい食事、美味しそうに見える盛り付け方など、アイディアや工夫次第で食事は無限大になります。

これからも、個々の状態に合わせ、口から食べて味わうことの大切さを重視し、美味しい食事が摂れるようにしていきたいと思います。

## 3. 排泄について

排泄パターンに合わせた交換回数にすることで、離床や食事中でも快適に過ごせて頂けたのではないかと思います。回数を多く行っていることで、正直「なんだか排泄介助を、ずっとしているな」と感じる時もありますが、新たな肌トラブルや発赤悪化等がなかったことから、今まで行ってきた成果だと感じています。

最近、高齢や後遺症による筋力低下から、立ち上がりが悪くなっている方もおり、二人対応で行うことも以前より増えました。

また、ベッド上で排泄交換をした時もありましたが、多くはトイレに誘導することでスッキリ感や快適な気分を味わって頂けたのではないかと思います。

消臭対策については、排泄吸収量を溜めないため交換回数を増やし、消臭効果のあるパットや消臭スプレー、新聞紙の活用、まめな換気と着替え等で対応してきました。

#### 4. 入浴について

個浴でも特浴でも季節を感じられるように花や風景写真を飾り、民謡や演歌などの音楽も流すなど、ゆったりと入浴を味わって頂けたかと思えます。

立ち上がりが悪い方の安全対策としては、二人対応で行って来ました。

保湿ケアについては、頭皮や肌の状態を確認、保湿クリームや入浴剤を活用し肌のケアに努めて来ました。

皮膚の弱い方に対しては、入浴時は血液循環が良くなり直接肌に触れることで内出血が起きやすくなってしまふことから、ケア会議を重ね、職員や家族の協力でアームカバーを作り、それを使用することで、移乗や入浴による内出血発生を防ぐことも出来ました。

#### 5. 行事等の取り組みについて

行事やレクリエーションでは、対応が遅れ慌ただしく移動することもありましたが、参加することで、身体がほぐれ気分転換にもなったと思えます。

「お風呂の日」では、季節を感じて頂くために工夫を凝らしたものとしたり、今回の温泉ツアーは、全員参加を目指し「きこり」で実施。温泉気分をたっぷり味わえたことと思えます。

誕生会では、全家族に参加して頂き、本人も大変喜ばれていました。また、厨房手作りのケーキを味わいながら、歌や踊りが披露される等、思い出となるひとときを過ごせたのではないかと思います。

外食ドライブでは、川俣のファンズと食事処「吟哉」へ出掛け、美味しい食事を頂いた後、買い物を楽しみました。

#### 6. 1年間を振り返って

あっと云う間の1年間でした。

お別れや入退院、体調が思わしくない方のケアの確認等、ご家族の方や多職種間で多くの会話をもち、思いやりをもってケアに当たってきた1年でもありました。

特に皮膚が弱く内出血のでき易い方々のケアについては、より多く話し合い、助言や協力を求めたり、再発予防と改善に努めて来ました。

超高齢に伴う心身の変化に対応して行くためには、一人ひとりに対するケアの方法や注意点等を把握し、分かり易く記入した24Hシートやアセスメントシートの情報を共有、申し送りノートの活用で、今後も統一したケアを行えるようにしていきたいと思えます。

1. 年間目標について

高齢化や要介護度の重度化に伴い、必要とされる医療行為の充実を図り、終末期においても施設生活が安心して送れるよう、他職種間との連携・協働体制を深めてきた。

また、職員の健康管理にも留意し、定期健診は基より、個別の相談などにも対応できるよう専門知識の向上と時節に合った管理指導に努めるなど、概ね目標は達成できた。

2. 業務計画について

1) ご利用者及び職員の健康管理

<p>健康管理について (入居者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 健康診断1回目 平成28年7月19日 平均年齢 89.9 歳 男性平均年齢 83.8 歳 女性平均年齢 90.9 歳。 36 名受診 (検診率 100%) 内、有所見者 35 名。</li> <li>➤ 健康診断2回目 平成29年2月10日 平均年齢 90.3 歳 男性平均年齢 84 歳 女性平均年齢 91.4 歳。 33 名受診 (1 名入院加療中) 内、有所見者数 32 名</li> <li>➤ 要精密検査を指摘されるような検査結果は3ケースあった。後日、主治医の診察時に再検査施行し内服薬開始となる。</li> </ul>
<p>職員の体調管理について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 介護職員の平均年齢も高く、柔軟性と筋力の低下が目立ち、体調不良を抱える職員が目立っている。</li> <li>➤ 村外通勤を余儀なくされていること、かかりつけ医が固定しにくいことなどがストレスの要因になっている。</li> <li>➤ 腰痛対策については、予防法と介護技術の修得及び、福祉用具の購入 (マッスルスーツの) 腰部にかかる負担軽減に努めた。</li> </ul>
<p>健康診断について (職員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 検診率100% (年2回) 施設外での健診を受けた職員については結果の写しを医務室管理とした。</li> <li>➤ 職員の3割は何らかの慢性疾患があり内服薬の処方を受けている。</li> <li>➤ 腰痛検査 (年2回) については、“総合的に心配なしと判断”という結果が殆どであった。</li> </ul>
<p>健康教育について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 職員会議定例会に於いて、時節に合った内容での勉強会を実施した。自身の体調管理については個別に相談を受けるなど、健康に関するの体制に努めてきた。</li> <li>➤ 『昼食後のストレッチ運動』については、身体の柔軟性とリラックス効果だけでなく、職員間のコミュニケーションをも図ることができた。良好な副産物をももたらす結果となり、次年度も継続し、その輪を拡げていきたい。</li> </ul>
<p>受診について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 救急車搬送は0件、臨時 (歯科含む) 受診と定期通院の割合は半々であった。</li> <li>➤ 重度の認知症があり、転倒による大腿部骨折のために入院、手術を施されるという事例があった。</li> <li>➤ 入居者2名が白内障の手術を行い、その前後の定期通院などにも付き添った。視力の回復は本人にとって、生活の質はもちろん、ストレスの軽減にも大いに役立てたといえる。</li> <li>➤ 介護と看護間の連携と情報を共有することで、比較的速やかな対応ができた。(手遅れという状態は避けられた)</li> <li>➤ 医療知識の周知・理解を図ることで二次的疾患や事故の予防ができた。</li> <li>➤ 重症度の高いご利用者についても主治医の指示の下、家族への連絡を密にするなど信頼関係を築くことができた。</li> </ul>

## 2) 感染症対策

感染症対策委員会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 医務室が中心となり、時節にあった感染症についての情報を周知し、感染症予防・蔓延に努めた。</li> <li>➤ ノロウイルスへの対策・対応としての勉強会を開催</li> </ul>
インフルエンザについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 入居者・職員にワクチンを接種。</li> <li>➤ 入居者0名、職員1名がインフルエンザ罹患者となったが、拡大することなく終息した。</li> </ul>

## 3) 褥瘡対策

皮膚トラブルの予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 看護サイドでは、早期発見の重要性を周知することで重篤な褥瘡や皮膚の炎症を防ぐことにつながった。</li> <li>➤ 皮膚トラブルがもたらす2次的疾患の特性について知識を広めることができた。</li> <li>➤ 皮膚の状態を健やかにするため、セラミド入り乳液である『キュレル』及び皮膚の状態に合わせワセリンまたはアズノール軟膏を個別購入し対応した。</li> <li>➤ 栄養の大事さ、経口摂取がもたらす効果については適宜ケア会議などで話し合い、関心を深めていった。</li> <li>➤ 蜂窩織炎を発症したケースが1名。介護側との情報共有が何より大切であることを改めて確認した。</li> <li>➤ 看護師間で検討し、保護剤や被覆材の選択については互いの情報を共有するにとどまった。次年度は開催される勉強会などに積極的に取り組んでいきたい。</li> </ul>
-----------	---

## 4) 終末ケア

看取りについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 「慣れ親しんだホームで最期を」と希望する入居者や家族が多く、7名の方が施設自分の居室で永眠され、病院に移ってから亡くなられた方は1名であった。</li> <li>➤ 苦痛の緩和に努める事に重点を置き、悔いが残らないように配慮することで信頼関係を継続できた。</li> <li>➤ 終末期を考慮し、家族はもちろん、厨房・介護・看護の全スタッフで関わることができた。</li> <li>➤ かかりつけ医である医師には、定期診療に加え、深夜早朝にもかかわらず対応していただき、最期の確認と家族への説明をして頂けたことがより信頼関係を深めるものとなった。</li> </ul>
---------	---

### 【入院状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大町病院	0	1	1	1	1	0	2	2	1	0	1	1	11
延日数	0	1	25	6	25	0	11	40	28	0	5	5	146
あづま脳神経						1	1						2
延日数						12	3						15
<b>実人数 計</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>13</b>
<b>延日数 計</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>25</b>	<b>6</b>	<b>25</b>	<b>12</b>	<b>14</b>	<b>40</b>	<b>28</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>161</b>

### 【通院状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大町病院	2	1	2	4	1				1		1	1	13
わたり病院											1		1
あづま脳神経						1							1
マルイ眼科		3	1	6	3			1	7	2	1	2	26
<b>実数 計</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>4</b>	<b>1</b>		<b>1</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>41</b>

平成28年度 厨房事業報告書

1. 基本方針

「おいしく食べて満足して頂ける楽しみな食事」を掲げ、1年間取り組んでき一人ひとりの身体状態や嗜好性に配慮しながら、より細やかなサービスを提供することで、日々の生活に満足感を味わえるよう食事面からケアさせて頂くことを目標に取り組んで来ました。

2. 実施内容

(1) 年間実施食数

食種	経口食	経管栄養	職員食	研修生	検食	家族食
年間食数	34,940	3,458	9,265	2	1,095	48
1ヶ月平均	2,912	288	772		91	家族会など
1日平均	96	9.5	25		3	
年間総食数	48,808 食					

(2) 年間食材費

食材費	特養
平均	1人1日 896円
食材費総額	14,579,386円

(3) 年間平均食事栄養量

栄養量	熱量	たんぱく質	脂質	塩分	炭水化物
特養	1,432kcal	63.1g	37.9g	7.0g	232g

(4) 栄養ケアマネジメント

対象者	対象者	実施期間	見直し期間
特養	入居者全員	通年	3ヶ月。但し、食事形態に変更があった場合は、その都度随時見直し対応
(平成29年3月末日)			
アセスメント結果 入居者 35名	低リスク (問題ない者) 23名	中リスク (やや瘦傾向・経管者) 10名	高リスク (褥瘡がある等) 2

(5) 事業取り組み内容

① 食事について

ア) 行事食

- ・ 行事食は昨年以上のものをと云う思いで力を入れ取り組み、料理内容や盛り付けに変化をもたせた。また、普通食に加え、嚥下困難な方のためのソフト食を立体的に見ためも綺麗で食べ易い料理を提供できた。
- ・ 納涼祭や芋煮会、餅つき等の大きな行事では、回数を重ねる毎に、ご用者やご家族、他部署職員との交流も深められた。事前準備から当日に至るまで、皆で盛り上げ楽しんで頂く取り組み姿勢に、職員の団結力の強さも実感した。
- ・ 温泉ツアーでは、今年は地元のきこりで行う利便性を活かし、昼時に合わせ厨房手作りの仕出し風お弁当を提供。厨房職員も一緒に食事を摂りながら楽しい時間を共有し、一体感も深まった。
- ・ ご利用者の状態が日々変化していく中で、急遽食形態が変わった時にスムーズに提供できなかったり、事前打ち合わせや連絡が不十分な部分もあったため、連絡体制の改善と周知徹底を図っていきたい。

イ) 誕生会

- ・ ケーキ盛り付けトレイを新調し、デコレーション技術に磨きをかけながら、スポンジケーキやプリンケーキ、ムースケーキ等、希望されたケーキを作り、お祝いの雰囲気盛り上げられるよう努めてきました。皆さんに喜んで頂く事で、次はもっと喜んで頂けるケーキを作りたいと遣り甲斐にも繋がっています。これからも誕生日を迎えられる意義を心に留めなが

ら、お一人おひとりのイメージのバースデーケーキを真心込めて作っていきたい。

ウ) 出張料理

- ・ 西棟ホールで6回の出張料理を行うことができ、ご利用者と一緒に楽しめた。にぎり寿司やラーメン、ぼた餅等を目の前で調理すると普段は少食な方でも、食がすすみ、美味しそうにおかわりされる姿が印象的でした。

出張料理は、ご利用者の食事状況や体調、好き嫌いなども把握できる上、調理している様子を見て喜んで頂けることから、自分達も励みになった。これからも積極的に取り組んでいきたいと思えます。

② 各家との関わりについて

家会議に担当者が出席し、ご利用者の情報を共有したり、行事や出張料理等で各家と一緒に食事する機会も増え、食事面に加え嗜好や体調、生活状況なども分かるようになり勉強になりました。また、厨房側の提案もでき、関わりを深めながら栄養マネジメントに反映させてきました。

③ 安全・安心な食事

安全・安心な食事提供を厨房全員で意識してきた。これからも衛生勉強会や各種検査を受けながら衛生管理を徹底していきたい。

3. 1年間を振り返って

ご利用者の重度化に伴って口から食べることが難しくなり、食べやすく栄養も摂れる食事をどうしたらできるのか、厨房として今まで以上に考えさせられる1年でした。

一人のご利用者の退院後（治療食）をきっかけにソフト食取り組みが始まり、施設全体の食事を見直すことに至りました。

軟らかく食べやすいソフト食を作るため、失敗しては何度も作り直し、硬さや味加減を調整しながら、高栄養食品も組み合わせ、栄養価を落とさないようにするなど、試行錯誤を繰り返した末に、いいたてホームならではのソフト食を作り上げることができ、貴重な財産になりました。

ソフト食の内容も震災以前の全部をミキサーにかけ、一色に固めてしまう物とは異なり、食材ごとに、料理によっては同じ食材でも形をかえながら、見た目にも綺麗な仕上がりを目指しました。

今までは、軟食が難しくなるとミキサーにかけたペースト状の料理になってしまったが、ソフト食の導入によって、形があり飲み込み易く消化にも負担がかからない食事を提供できるようになりました。また、普通食だった方が一時的に体調を崩したり、食欲が落ちてきた場合には、普通食にソフト食も併用して提供するなど、食の形態の選択幅を拡げ、食べる意欲を引き出すことにも繋がられました。

今まで何を食べても「とろろ食べた。やっこいもの（ペースト状）ばかりだった」と言っていた方に、形を確認しながら食べて頂けるようになり、青い葉物類を好まなかった方がソフト食だと「これ旨いなあ」と喜んで食べている様子から、全員で取り組んで来た成果が認められたようで達成感もひとしおでした。

ソフト食導入後は、直ぐに経管栄養に移行するのではなく、ギリギリまで口から食べて頂けるようになってきています。

ご利用者から学ばせて頂いた“口から食べることが生きる力に繋がる”ことを糧として、これからも美味しく食べて笑顔になれる食事作りに取り組んでいきたいと思えます。

平成28年度 いいたて在宅介護支援センター  
指定居宅介護支援事業所事業報告書

1. 基本方針について

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の継続」及び「自立支援」を基本とし、ご利用者やご家族の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、ご本人並びに家族は勿論の事、多種多様な事業者や関係機関と連携し、避難先等でも家族との繋がりが継続できるような支援を行ってきた。

(1) 信頼を得るについて

ケアプランを立案するにあたり、ご利用者とそのご家族の方との信頼関係を得るためにコミュニケーションを密にして、避難先の環境やサービス事業者とも連携を図り、迅速な対応をしてきた。

(2) 課題を正確に捉えるについて

生活環境の変化やご利用者やご家族の方の抱える心配ごとや不安な点を捉えるため、予測される課題についても、事前に検討を行ってきた。

(3) 情報提供について

ご利用者やご家族の方が必要としている、介護保険制度を含めた様々な情報を提供、利用できるサービスなど避難先の地域資源活用等についても情報提供を行ってきた。

(4) モニタリングを行うについて

常に状況を把握し、状態にあった支援が提供できるよう努め、モニタリングについても訪問以外に電話等で相談や状況把握など出来る限りの活動を行ってきた。

(5) ご利用者の立場に立つについて

常にご利用者とその家族の方の立場で対応することに努めてきた。

『評価と課題』

訪問活動の他に、サービス提供事業者や関係機関等との連絡体制を徹底し、情報の共有を図って、電話などによっても身体状況の変化、生活状況及び家族の負担状況の把握を行い、より適切な対応ができるように努めてきた。

今後、介護保険給付に対するサービスの利用量、サービスの種類等の適正化を図って行くことも必要となってくると思われる。

2. 具体的な施策について

《ケアマネジメントの充実》

(1) アセスメント（課題分析）について

ご利用者及びご家族の方の意向等を把握し、解決すべき課題や生活行為等に対する可能性を抽出し、それらに基づく目標を導き出してきた。また、得られた情報はケアマネジメントの中核とし状態像を十分に把握してきた。

(2) サービス担当者会議（ケアカンファレンス）について

ご利用者及びご家族の方、サービス事業所が参加することにより、生活への要望や課題を直接会って確認することで、チーム全員が思いを共有できると共に、ご利用される側に安心感を持てるようにしてきた。

(3) モニタリング（サービス実施状況の把握及び評価）について

モニタリングは、ご利用者に対する継続的なアセスメントでもあり、ご利用者やご家族の方の要望や苦情等を、口に出せるような関係を築いて行くと共に、サービスの実施状況も確認してきた。

(4) 居宅サービス計画の見直し（再アセスメント）について

モニタリングの結果から、ケアプラン変更の必要性が生じたら、内容を確認し利用者の状態の変化及びニーズを把握し、居宅サービス計画を見直し作成してきた。

(5) 給付管理について

サービス提供事業者からサービスの実績報告を受け、内容を確認し「給付管理票」を作成し翌月10日までに国民健康保険団体連合会（県）に提出しています。

給付管理請求一覧（平成28年度）

月	件数	介護報酬額	月	件数	介護報酬額
4	76	1,124,920	10	80	1,121,400
5	76	1,086,640	11	81	1,108,260
6	75	1,038,120	12	79	1,110,000
7	81	1,146,540	1	78	1,070,480
8	84	1,184,480	2	70	956,740
9	82	1,176,480	3	70	953,160
合 計				932	13,077,220

『評価と課題』

サービス提供事業所との連絡調整を密に行い、適正なサービス利用に向けた調整を行っています。特に相馬地方の介護保険サービス提供事業者を含め、慢性的な人員不足状態が続いている状況にあります。

サービス利用量の適正化を図り、ご利用者やご家族の方の要望を受け入れながら、インフォーマルなサービスも取り入れ、各種事業所との連絡調整を行っていききたいと思います。

3. 重点事業目標について

(1) ご利用者及びご家族の方に対し避難先の福祉サービス情報提供について

- 希望するサービスを把握し避難先で対応可能なサービスについて、介護保険サービス以外のインフォーマルサービスを含め情報提供を行ってきた。

『評価と課題』

- 避難先地域毎に、サービスの種類や量等を事前に調査を行い、ご利用者やご家族の方に適していると思われるサービスについて適宜情報提供を行うことができた。情報収集の方法について、より効果的に図れる様に関係機関と連携する必要がある。

(2) 避難先での孤立防止と意欲低下防止について

- 訪問活動や電話による状況確認を行うことにより、ご利用者は勿論のこと、ご家族の方の介護への不安解消を図った。

『評価と課題』

- 定期的な訪問活動のほかにも、関係機関との連携を図り、ご利用者やご家族の方への支援活動を展開できたことは満足できるものであるが、今後は離れて暮らす家族との連携も必要と思われる。

(3) 利用者の状況に応じたケア計画の作成について

- ご利用者及びご家族の方の状況を把握することは勿論、サービス提供事業所からの情報を元に再アセスメントを行い状況に適したケア計画を作成してきた。

『評価と課題』

- 状況に応じたケア計画作成が出来たことには、ご利用者やご家族の方にも満足して頂け、評価できるものと思っている。その時々だけではなく、当初から長期的な視点でのケア計画を作成するように努めたい。

(4) 医療機関との連携について

- 福島県が推進してきた医療機関との連携強化のため、入退院時の情報共有のための相双地圏域と県北圏域双方の入退院時調整ルールに基づき、其々の医療機関とご利用者の情報について共有を図ってきた。

『評価と課題』

- 入退院時調整ルールについては、運用が始まったばかりということもあり、これからが本格的な運用が行われるものと思われる。

(5) 課題等情報の共有について

- 相談支援業務だけに関わらず、避難元の地域での生活情報や、避難先のサービス提供情報などについても、相互の持っている情報の共有を図ってきた。

『評価と課題』

- 複数の職員体制ということもあり、様々な問題に対して連絡や情報交換が取りやすい環境となっている。今後も継続し、利用者支援に関する情報はもちろんのこと、サービス提供機関や医療機関などの関することなどについても、情報の共有を図っていききたい。

(6) 要介護認定調査について

- ・ 飯舘村の要請を受け、認定の更新を希望する方の要介護認定調査を実施してきた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在宅調査	7	7	9	10	7	7	11	7	3	7	3	7	85
施設調査	2	3	7	0	8	6	0	4	2	5	4	1	42
合計	9	10	16	10	15	13	11	11	5	12	7	8	127

『評価と課題』

- ・ 調査期間等を厳守するため、事前の連絡調整を密に行い滞ることなく認定調査を行うことができた。サービス利用に関しての目的ではない見直し希望もあり、申請に至る時点での聞き取り調査なども必要ではないかと思われる。

(7) 効率的かつ効果的な活動について

- ・ サービス利用希望者が、広範囲に避難することとなり、訪問のための移動時間が多くなっていることは確かであり、そのため、相談内容の事前把握や関係機関との調整を電話などで行い、相談や支援業務を効果的に進めるような活動を行ってきた。

『評価と課題』

- ・ 訪問活動のほか、関係機関との連携を図り、ご利用者やご家族の方への支援活動を効果的かつ効率よく展開できたと思われるが、今後も早期の問題把握につとめ、より効率的効果的な活動に努めたい。

4. 介護支援専門員の資質・専門性の向上について

(1) 専門知識及び技術向上に努めてきた。

研修会に参加し、周知徹底に努めてきた。

- ・ 現任認定調査員研修（南相馬市） 3名参加
- ・ 介護保険法に基づく実地指導（福島県指導監査）の実施  
県福祉監査課2名、相双保健福祉事務所1名

(2) 不満や苦情があれば、迅速かつ適切な対応が図れるように努めてきた。

- ・ 訪問時本人や家族の満足や不満等について確認し、サービス事業所への報告や改善を促しながら、質の向上に取り組んできた。

(3) 秘密保持厳守、及び個人情報の取り扱いを適正に行ってきた。

- ・ 個人情報等の取り扱いについて慎重に対応するよう取り組んできた。

(4) 困難事例ケース検討、及び新規ケースの情報の共有することで、事業所内で依頼ケースのケアに取り組んできた。

- ・ 担当者が詳細な情報を報告し、情報を共有出来るよう取り組んできた。

『評価と課題』

研修会に参加し、情報の収集を行ってきた。

困難事例ケースについては、地域包括支援センターやサービス提供事業所とも連携を図り、同行訪問等を行いながら対応を行ってきた。困難事例ケースの中には、介護問題だけではなく、家庭環境全体が困難なケースとなっている。

また、介護保険法に基づく県の実地指導に関しては、平成13年以降の実地指導ということであったが、若干の記録不足や手続きの不備、ケアプラン作成に関しての解釈の相違があったものの、大きな指摘事項は無かった。今後は今回の指導を基に改めて法令遵守に努めていきたい。

5. 在宅介護への支援について

(1) 介護保険制度及びサービス内容の周知を行ってきた。

- ・ サービス利用については、ご利用者のニーズに合わせ、それぞれの避難先（自治体）で希望するサービスを提供できるよう取り組んできた。

(2) 介護方法及び社会資源の利用についての周知を行ってきた。

- ・ 介護に関わるアドバイス、認知症利用者等への対応の仕方など行ってきました。避難先での利用可能な社会資源について、その都度説明を行ってきた。

## 『評価と課題』

避難先の行政機関と飯館村の連絡調整も必用となってくることから、関係機関との連携が益々必要となっていくと考えられ、利用者やその家族の不安が少しでも解消できるような、相談援助活動を継続していく必要がある。

## 6. 各関係機関との連携の強化

- (1) 地域包括支援センターを始め、各関係機関との連携を密にし、ニーズに沿ったケアマネジメントが行えるよう取り組んできた。
  - ・ 他市町関係機関との連携を行いながら、ケアマネジメントに反映出来る様に取り組んできた。
- (2) 困難事例の検討と改善について
  - ・ 困難事例については、本人や家族はもちろんの事、地域包括支援センターや各市町のサービス提供事業者とも連携を図り、改善に向けて取り組んできた。
- (3) 地域ケア会議への参加
  - ・ 毎月開催される地域ケア会議に出席し、各種機関が抱える困難な課題や解決方法などについて意見の交換を行い、情報の共有を行ってきた。

## 『評価と課題』

- ・ 避難先の各種関係機関とも連携して支援できたことについては、評価できるものと感じている。今後の帰村する・避難を継続する・新たな地域での生活を選択する等それぞれのご利用者のご家族等と生活環境等の変化に対し、どのように対応できるか各関係機関との連携がこれまで以上に重要となってくるものと思われる。

～～平成28年度、避難中ご協力頂いている（協力頂いた）各種事業所（敬称省略・順不同）～～

### <福祉用具関連事業所>

エヌジェイアイケアヘルス福島店、ニチケアセンター南福島、(株)ファミリーケア、(株)モリヨシ技研（福島）、(株)同仁社（伊達）、(株)昭和総合サービス（郡山）、(株)アルプスビジネスクリエーション（相馬）、(株)ハッピーケア、(株)すざ家具店（南相馬）、(株)福島ひかりのくに（川俣）

### <訪問看護事業所>

訪問看護ステーション松陵、訪問看護ステーションしみず、訪問看護やまなみステーション、訪問看護ステーションすかわ、訪問看護さくらみずステーション、訪問看護さくらみずステーションサテライトほほえみ、済生会福島訪問看護ステーション、訪問看護ステーションしみずサテライトせのうえ（福島）、二本松病院附属訪問リハビリステーション（二本松）、あぶくま訪問看護ステーション（伊達）、済生会川俣訪問看護ステーション（川俣）、訪問看護ステーションゆうゆう、ライプリー南相馬訪問看護ステーション（南相馬）、リハビリ訪問看護ステーションつばさ（相馬）

### <訪問介護事業所>

ハートフルステーション、大和ヘルパーステーション、ヘルパーステーションはなしのぶ、ロング・ライフ訪問介護事業所、アグリホームヘルパーステーション、民間救急警備(株)、定期巡回・随時型訪問介護看護湯の里大生苑、(有)きさらぎ（福島）、福寿園ヘルパーステーション（南相馬）、ヘルパーステーションだて、ヘルパーステーションほぼら、あぶくまヘルパーステーション（伊達）、馬陵タクシー介護事業部、ニチケアセンター宇多の郷、訪問介護四季（相馬）、済生会光風園訪問介護事業所（川俣）、にほんまつデイサービスセンター（二本松）

### <訪問入浴事業所>

(有)キュービット介護サービス、民間救急警備(株)（福島）

### <通所リハビリ事業所>

通所リハビリステーションろくまんぼう、通所リハビリ桃花林（伊達）、せいふうケアリハビリ・ホーム方木田、せいふうケアリハビリ・ホーム飯坂、通所リハビリテーションエルダーランド、とやのクリニック通所リハビリテーション、レッツ倶楽部瀬上（福島）、通所リハビリテーションめがみ（川俣）、通所リハビリ社の都（相馬）

### <通所介護事業所>

北信デイサービスセンターすこやか、デイサービスあづま、ハートフェローユーズ、デイサービスセンター輝きの郷、認知症対応型通所介護あつぎの「庭」、Qアップスタジオ森合、まちなか宝生園、ほうらいデイサービスセンター、老人デイサービスセンターはなみずき（福島）、ニチケアセンター宇多の郷、相馬福祉会デイサービスセンター、相馬市デイサービスセンター（相馬）、南東北川俣デイサービスセンター（川俣）、伊達デイサービスセンター、ファミリー指定通所介護事業所（伊達）、福寿園デイサービスセンター、デイサービスステーションスマイル、けやきデイサービスセンターライプリーデイサービス（南相馬）、にほんまつデイサービスセンター（二本松）

### <短期入所事業所（特別養護老人ホーム）>

なごみの郷、ショートステイ輝楽里、聖・輝きの郷、愛の里、まちなか宝生園、生愛ガーデン（福島）、孝の郷、ハッピー愛ランドほぼら、ファミリー（伊達）、南東北川俣シルクロード館、はなづか（川俣）、ショートステイ憩いの森（宮城・丸森）

### <短期入所事業所（老人保健施設）>

エルダーランド、ケアフォーラムあづま（福島市）、プライムケア桃花林（伊達）、ベテランズサークル（相馬）、桑折聖・オリーブの郷（桑折）、めがみ（川俣）

### <居宅療養管理指導（住診含む）>

とやのクリニック、すずきクリニック、(株)あさがお薬局（福島）、桑名医院（伊達）、大石医院（相馬）、南相馬市立総合病院（南相馬市）

## 平成28年度 やまゆり保育所事業報告

### 1. 基本方針

「子ども・子育て支援関連3法」を踏まえ、より安定した子育ての支援ができるよう、子どもの潜在能力を引きだし、健やかに育つことができるよう質の向上に努めつつ、温かみのある保育所に努めてきました。

### 2. 年間入所児童数

	2歳児	1歳児	0歳児	合 計	
男児	1名	0名	0名	1名	8名
女児	2名	4名	1名	7名	

### 3. 年間保育日数

月/日数		月/日数		月/日数		月/日数	
4月	25日	7月	25日	10月	25日	1月	23日
5月	23日	8月	26日	11月	24日	2月	23日
6月	26日	9月	24日	12月	23日	3月	26日
合 計							293日

### 4. 主な保育所行事内容

月	日	行 事	内 容	参加人数
4	1	平成28年度保育開始	通常保育開始	
	5	誕生会	4月生まれの子を祝う	児童 6名
	11	避難訓練	非常笛の合図を知る 保育士の下に集まる	児童 6名
	14	内科検診	あづま脳神経外科病院小児科医による検診	児童 7名
	22	歯科検診	つじ歯科医院医師による検診	児童 7名
5	6	子ども会	子どもの日の由来を知りこいのぼりの製作をする	児童 7名
	10	交通安全教室	歩道の歩き方を知る。信号の見方を知る	児童 5名
	16	避難訓練	避難時の約束を守り、指示により避難する	児童 6名
	17	尿検査	尿採取検査	児童 8名
	26	飯館村立小2年生来所	保育所の様子を見学し様々な仕事を知る	児童 6名
6	7	避難訓練	地震時の避難の仕方を知る	児童 7名
	11	保育参観	保育所の過ごし方を説明し、親子触れあい遊び	児6保護者 12
	13	防犯教室	知らない人には付いて行かないを知らせる	児童 7名
	16	眼科検診	高野眼科医院の医師による診察	児童 7名
7	7	七夕会	七夕の由来を知り、笹飾り製作と願い事をする	児童 7名
	15	避難訓練	火災想定 前庭に避難する	児童 7名
8		誕生会	3日・19日の誕生児を祝う	対象児 2名
	8	避難訓練	火災想定 午睡中想定	児童 7名
	19	防犯教室	不審者から身を守る	児童 5名
	22	夏祭り	浴衣や甚平を着てゲームや模擬店で遊ぶ	児童 8名
9		誕生会	2日・23日の誕生児を祝う	対象児 2名
	16	保育参観・給食試食会	親子で歌と演奏のコンサート鑑賞 給食試食	児7保護者 7
		避難訓練	引き渡し訓練保護者同伴	児5保護者 5名
	20	交通安全教室	道路では遊ばない	児童 4名
10		誕生会	3日・5日・26日の誕生児を祝う	対象児 3名
	5	遠足ごっこ	2歳児、弁当を園庭で食べ遠足気分を味わう	児童 5名
	6	内科検診・歯科検診	4月実施医による検診(二回目)	児童 5名
	17	運動会遊び	玉入れ、かけっこ等競技をして運動会を楽しむ	児童 8名
	31	避難訓練	火災想定 消防署来所 通報・消火訓練 評価	児童 6名

11	7	防犯教室	知らない人についていかない 大声を出す	児童 4名
	10	誕生会	誕生児を祝う	児童 8名
	11	クッキー作り	2歳児 手作りクッキーを作りおやつで食べる	児童 5名
	14	避難訓練	地震、火災想定	児童 4名
12	5	避難訓練	地震想定 午睡直後	児童 6名
	14	クッキー作り	2歳児 手作りクッキーを作りおやつで食べる	児童 5名
	22	クリスマス会	サンタクロースからプレゼントをもらう	児童 5名
1	10	避難訓練	火災想定 靴を履いて外に避難	児童 7名
	11	だんごさしごっこ	紙粘土をまるめて水木にさす だんごさしの由来	児童 4名
2	3	豆まき会	鬼の面製作 豆まきをして弱虫を退治する	児童 8名
	6	避難訓練	火災想定	児童 8名
	15	クッキー作り	2歳児 手作りクッキーを作りおやつで食べる	児童 5名
3	3	ひな祭り会	ひな祭りの由来 歌に合わせて踊りを踊る	児童 7名
	10	避難訓練	一年間の総括	児童 5名
	14	クッキー作り	2歳児 手作りクッキーを作りおやつで食べる	児童 5名
	25	修了式	3名修了児 証書授与 思い出のスライド	児童 3名
	31	お別れ会	修了児と在所児のお別れ会 プレゼント交換	児童 7名
		平成28年度保育修了		

その他

- ・ 2歳児は後半、クッキー作りを楽しむことができた。
- ・ 保育参観に親子で楽しめるコンサートを開催。
- ・ 災害・不審者等から身を守る訓練を繰り返して行った。

5. 会議報告

① 職員会議

毎月、保育内容の見直しや課題等を検討するため、ケース内容の見直しや様々な勉強会を実施してきました。

月 日	内 容
4月25日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・H28年度事業計画の確認
5月23日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・新任研修報告
6月20日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・水遊びの事故防止について
7月25日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・村学校再建会議、研修報告
8月25日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・食物アレルギーの事故防止
9月26日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・認定こども園の新設について
10月31日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・インフルエンザ感染予防徹底
11月28日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・オムツ外しの徹底について
12月19日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・年末年始について
1月23日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・修了式の準備について
2月27日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・修了式の確認について
3月25日	入所児動向・保育の改善事項等・ケース検討・勉強会・新年度に向けた準備について

- ・ ケース検討では、2歳児のオムツ外しを検討し、1名ずつの徹底した取り組みでオムツを外すことができた。

② 給食会議

- ・ 前月の事項を基に、当月の事項やメニューの確認、行事食等について検討してきた。

開催月日	4.18	5.20	6.20	7.15	8.22	9.20	10.17	11.21	12.12	1.23	2.15	3.14
------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	------	------	------

- ・ 年2回 食育アンケートを実施し、給食提供に反映させた。(6月・11月)
- ・ 食品放射能線量検査(毎日実施) ・ 保菌検査(全職員毎月実施)
- ・ ノロウィルス検査(調理職員年2回実施) ・ 食品自主検査(年2回実施)
- ・ 給食温度調査(年2回実施) ・ 食育アンケート(年2回実施)

#### 6. 安全点検・備品点検の実施

- ・ 毎月1日を安全点検実施日とし、遊具や家具、建物及び敷地内の点検を行い、不備があった場合は即対応、事故防止に努めてきた。
- ・ 備品点検は、隔週行い備品の不備がないか等の確認に努めた。

#### 7. 個別計画、月、週、日案の作成と実施

- ・ 年2回(4月・10月)のアセスメントから個別計画を作成し保育に取り組んできた。
- ・ 月・週案を作成、計画的なクラス保育に取り組んできた。
- ・ ケース記録や経過記録を細やかに記録し成長の記録に努めてきた。

#### 8. 保護者支援

- ・ 毎日の送迎時や連絡帳を通し、保育に対する不安等に対応することで、不安解消に努め、また困難ケースの場合は、関係機関に繋げ適切に対応してきました。

#### 9. 危機管理の徹底

- ・ その都度ヒヤリハットの記入と検証を行い、事故に繋がらないよう努めてきました。
- ・ 災害や不審者侵入等を想定した避難訓練を計画的に実施、特に災害時の避難をスムーズに行えるよう努めてきました。
- ・ 危険な箇所や、落雪等による事故が起こらないよう、危険箇所を掲示する等、職員に周知徹底してきました。
- ・ アレルギーを引き起こす食材の誤食や、誤飲による事故等を起こさないよう常に職員会議等で周知し、事故防止に努めてきました。

#### 10. 感染予防の徹底

- ・ 保育室の衛生や換気、給食室の衛生も徹底してきました。
- ・ 年間を通して、入所児や職員の手洗いうがいの徹底、感染予防に努めてきました。
- ・ 玩具のアルコール消毒や洗浄をその都度行い唾液等による感染防止に努めてきました。
- ・ 体調不良時には早めの通院を促し、重篤症状に陥らないよう努めてきました。

#### 11. 全体の反省

- ・ 保育計画に沿った保育展開ができたと思います。また、四季折々の催しや行事食を通し、その由来等も伝えることができました。

本年度も大きな事故もなく健康で年間を通し保育できたことはなによりでした。

## 1. 基本方針

新たな制度改正を控え、例年と比較し事務量が増加すると考えられるため、事務の役割・責務を理解し、適切且つ、迅速に手続きや申請、報告等処理していくことを目的に掲げてきた。

社会福祉法人制度改正に伴う法改正は、当法人の定款変更に伴い、諸規程の見直しや新たな規程を設けたり、それらに付随したものを変更しなければならず、例年と比較し事務量が増加したものの、効率的な業務分担することにより、遅滞なく各種申請や報告、登記等の事務処理をすることができたことでは、概ねクリアしたと思われる。

## 2. 主な内容

### ① 財源の維持確保

- 適切な予算収支の執行

適切な予算組み立てと無駄な経費を削減してきた。

自分たちでできることは、業者に依存しないことや、役割分担と事務効率を高めることで経費削減に努めてきた。

自分たちでできること = 車両維持関係・登記関係等

役割分担と事務効率を高める = 同様の資料は持たず一つのデータを活用

### ② 人材確保

- 人材確保に関する広報や呼掛け、居住環境を整備してきた。

人材確保に関する広報や呼掛け = 人材支援、HP、お知らせ版等を活用

居住環境を整備 = 新採用等の職員の居住を3件確保と整備

### ③ 後方支援の役目を担う

- 制度改正に伴う法改正があっても、各事業所が活動し易いように、サポートをしてきた。  
(戸惑うことのないように規程やマニュアル等を整備し、説明も随時行ってきた。)

平成28年度 研修一覧

研修期間	研修者氏名	所属	研修名	研修場所	時間	開催者	内容	
4月3日～4月4日	1日間	三瓶 政美	特養	そのだ修光氏の福島県内の施設訪問同行	ホテルトリートイン新白河駅東	18:00～18:30	そのだ修光後援会福島支部	そのだ修光氏の福島県内の施設訪問
4月9日～4月9日	1日間	三瓶 政美	特養	秀公会新入生歓迎会	ウエディングエルティ	18:30～	秀公会	新入生歓迎会
4月11日～4月11日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度福祉前県社会福祉協議会サービス部会相双支部総会	ビッグバレットふくしま	10:00～	サービスセンター部会相双支部	平成27年度事業報告及び収支決算報告について
4月11日～4月12日	2日間	三瓶 政美	特養	平成28年度相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会総会及び施設長会議	ビッグバレットふくしま	11:00～12:00	相双特連	平成27年度事業報告・収支決算について他
4月11日～4月11日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会総会	ビッグバレットふくしま	13:00～17:00	県老施協	平成27年度事業報告について他
4月18日～4月18日	1日間	三瓶 政美	特養	第1回総務・組織委員会	塩崎ビル	13:30～15:30	全国老施協	平成27年度事業の総括について
4月22日～4月22日	1日間	三瓶 政美	特養	第1回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	13:00～15:00	全国老施協	情勢分析、各委員会事業の進捗について等
5月9日～5月9日	1日間	菅野 真紀	保育所	平成28年度保育所新任保育士研修	ビッグバレットふくしま	9:50～16:00	県社協	新入保育士としての自覚他
5月10日～5月10日	1日間	高野 拓巳	特養	平成28年度社会福祉施設等職員初任者基礎研修	郡山ユラックス熱海	13:30～15:50	県社協	社会福祉施設等の職員としての心構え
5月11日～5月11日	1日間	三瓶 政美	特養	飯館村復興加速円卓会議	飯館村役場飯野支所	10:00～12:00	飯館村役場	村の復興に向けた、国の関係者との意見交換
5月13日～5月13日	1日間	井上 祥行	特養	平成28年度認知症高齢者対応研修	郡山ユラックス熱海	10:20～16:00	県社協	高齢者の心理と行動他
5月16日～5月16日	1日間	北里真由美	特養	平成28年度相双地区集団給食研究会総会並びに第1回研修会	万葉ふれあいセンター	13:30～15:30	相双地区集団給食研究会	平成27年度事業及び決算について
5月26日～5月26日	1日間	三瓶 政美	特養	第2回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	10:00～12:00	全国老施協	情勢分析、各委員会事業の進捗について等
5月30日～5月30日	1日間	小林 明美	特養	平成28年度キャリアパス制度理解研修	ユラックス熱海	13:00～16:00	県社協	人が育ち、職場に定着する「キャリアパス」とは他
5月30日～5月30日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度第1回ふくしまユニットケア協議会総会及び管理者等研修	ウエディングエルティ	11:00～16:00	ふくしまユニットケア協議会	平成27年度事業報告について、今後のユニットケアのありかたについて他
6月2日～6月2日	1日間	三瓶 政美	特養	社会福祉法人等代表者会議	郡山ユラックス熱海	13:00～16:00	保健福祉部	社会福祉法人制度の概要について他
6月4日～6月19日	4日間	木幡 佳代	特養	平成28年度介護福祉士実習指導者講習会4回コース	郡山市労働福祉会館	9:00～17:00	福島県介護福祉士会	介護福祉士が働く場が必要とされる法や制度の動向を理解する他
6月4日～6月19日	4日間	菅野 明洋	特養	平成28年度介護福祉士実習指導者講習会4回コース	郡山市労働福祉会館	9:00～17:00	福島県介護福祉士会	介護福祉士が働く場が必要とされる法や制度の動向を理解する他
6月7日～6月8日	2日間	佐々木裕行	特養	平成28年度社会福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会事務長等職員研修	華の湯	13:30～12:00	県社協	社会福祉法の一部を改正する法律への対応について他
6月9日～6月9日	1日間	三瓶 政美	特養	第2回そのだ修光後援会（拡大）代表者会議	塩崎ビル	16:00～17:00	全国老施協	現在までの進捗状況と今後の活動について
6月13日～6月15日	3日間	斎藤 伸	特養	2016年度第8回ユニットリーダー研修	TKPガーデンシティ仙台	12:30～16:00	日本ユニットケア推進センター	ユニットケアの理念と意義他
6月13日～6月15日	3日間	佐藤 祐子	特養	2016年度第8回ユニットリーダー研修	TKPガーデンシティ仙台	12:30～16:00	日本ユニットケア推進センター	ユニットケアの理念と意義他
6月14日～6月14日	1日間	木幡 佳代	特養	指定病院等における不在者投票事務説明会	福島県相双地方振興局	10:30～11:30	福島県選挙管理委員会相双地方事務局	第24回参議院議員通常選挙説明会
6月16日～6月16日	1日間	眞壁 成行	在介	平成28年度第1回地域ケア会議	飯館村役場飯野支所	15:00～16:30	飯館村	関係機関からの報告について他
6月16日～6月16日	1日間	菅野ゆかり	在介	平成28年度介護保険事業者集団指導	福島県文化センター	13:30～16:30	福島県保健福祉部	平成28年度介護保険事業者指導方針について他
6月16日～6月16日	1日間	木幡 佳代	特養	平成28年度介護保険事業者集団指導	福島県文化センター	13:30～16:30	福島県保健福祉部	平成28年度介護保険事業者指導方針について他
6月20日～6月24日	5日間	斎藤 伸	特養	2016年度第8回ユニットリーダー研修施設実習	みどりの郷	13:00～16:00	日本ユニットケア推進センター	ユニットケアの運営上の留意点や工夫について理解し、自施設でどのように展開するか等
6月23日～6月23日	1日間	中井田多美子	保育所	第1回飯館中改修推進委員会	飯館村役場飯野出張所	19:00～	飯館村	委嘱交付等
6月24日～6月24日	1日間	佐々木裕行	特養	平成28年度安全運転管理者等講習会	鹿島農村環境改善センター	9:30～16:30	福島県公安委員会	安全運転講習
6月29日～7月1日	3日間	佐藤 恵	特養	平成28年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修	県社協	10:00～15:40	県社協	中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理他
6月30日～6月30日	1日間	佐々木裕行	特養	平成28年度福島県社会福祉協議会社会福祉法入経営者協議会総会及び社会福祉法人制度改革対応セミナー	ユラックス熱海	10:30～16:45	経営協	社会福祉法改正への対応と実践他
7月2日～7月2日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度防災に関する研究・研修会	テクノプラザ愛媛	13:40～15:10	愛媛県老施協	震災時の状況とその後について
7月6日～7月6日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度ふくしま産業復興雇用支援助成金説明会	アオウエ	14:00～16:00	福島県	助成金と概要の要件について他
7月11日～7月11日	1日間	三瓶 政美	特養	第4回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	15:00～17:00	全国老施協	各委員会事業の進捗状況について等
7月11日～7月15日	5日間	佐藤 祐子	特養	2016年度第8回ユニットリーダー研修施設実習	十符・風の音	13:00～16:00	日本ユニットケア推進センター	ユニットケアの運営上の留意点や工夫について理解し、自施設でどのように展開するか等
7月11日～7月11日	1日間	森永 淳志	特養	平成28年度老人福祉施設職員研修Ⅱ	ユラックス熱海	10:20～16:00	県社協	アサーティブであるということ〜考え方と行動
7月12日～7月12日	1日間	今野 恭子	保育所	平成28年度保育所保育士専門研修	ビッグバレットふくしま	9:45～16:00	県社協	職場内コミュニケーション他
7月19日～7月19日	1日間	佐々木裕行	特養	平成28年度社会福祉法人事務長等研修	ビッグバレットふくしま	10:30～15:00	県社協	社会福祉法人の制度改革について他
7月20日～7月22日	3日間	高野 拓巳	特養	平成28年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修	福島県総合社会福祉センター	9:15～16:40	福島県社会福祉協議会	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理他
7月21日～7月21日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度第1回全体会議	福寿園	14:00～	相馬地方介護福祉士養成学科をつくる会	ワーキングチームの調査・検討の内容の報告他
8月1日～8月1日	1日間	三瓶 政美	特養	第1回高齢者介護施設における安全衛生教育資料作成委員会	産業安全会館	14:30～17:00	中央労働災害防止協会	調査研究の概要について
8月2日～8月2日	1日間	三瓶 政美	特養	6法人連絡協議会	田村福祉会	11:00～15:00	田村福祉会	社会福祉法改正の各法人動向の情報交換他

8月2日～	8月2日	1日間	佐々木裕行	特養	6法人連絡協議会	田村福祉会	11:00～15:00	田村福祉会	社会福祉法改正の各法人動向の情報交換会
8月8日～	8月8日	1日間	三瓶 政美	特養	第1回総務・組織委員会四役会議	塩崎ビル	14:00～16:00	全国老施協	平成28年度タウンミーティング、指導監査対応室全国担当学会議他
8月9日～	8月9日	1日間	三瓶 政美	特養	飯館村民生委員推薦委員会	飯館村役場	13:30～	飯館村	飯館村民生児童委員及び主任児童員の推薦についての審議
8月10日～	8月10日	1日間	菅野ゆかり	在介	「相双圏域医療介護連携調整事業」ケアマネジャー説明会及び第1回退院調整ルール策定検討会	相馬市総合福祉センター	13:30～16:00	相双保健福祉事務所	福島県相双圏域における退院調整ルール策定を目指して
8月10日～	8月10日	1日間	真壁 成行	在介	「相双圏域医療介護連携調整事業」ケアマネジャー説明会及び第1回退院調整ルール策定検討会	相馬市総合福祉センター	13:30～16:00	相双保健福祉事務所	福島県相双圏域における退院調整ルール策定を目指して
8月10日～	8月10日	1日間	浦住すみい	在介	「相双圏域医療介護連携調整事業」ケアマネジャー説明会及び第1回退院調整ルール策定検討会	相馬市総合福祉センター	13:30～16:00	相双保健福祉事務所	福島県相双圏域における退院調整ルール策定を目指して
8月17日～	8月17日	1日間	北里真由美	特養	平成28年度相双地区特定給食施設等講習会	環状放牧センター	14:00～16:00	相双保健所	給食施設における減塩&野菜摂取増加に向けた取組別について
8月22日～	8月22日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度社会福祉法人理事研修	ビッグバレットふくしま	13:30～16:00	県社協	これからの社会福祉法人の役割と使命
9月1日～	9月1日	1日間	佐々木裕行	特養	いいだてクリニック再開式	いいだてクリニック	10:00～11:00	飯館村	再開式
9月1日～	9月1日	1日間	菅野ゆかり	在介	いいだてクリニック再開式	いいだてクリニック	10:00～11:00	飯館村	再開式
9月20日～	9月20日	1日間	北里真由美	特養	平成28年度社会福祉施設栄養士研修	ビッグバレットふくしま	10:20～16:00	県社協	安全に美味しく食べるために
9月21日～	9月21日	1日間	三瓶 政美	特養	飯館村復興加速円卓会議	飯館村役場飯野支所	14:00～16:00	飯館村役場	村の復興に向けた、国の関係者との意見交換
10月4日～	10月4日	1日間	高橋真由美	特養	24時間シート作成と活用についての研修	サンパレス福島	10:00～16:00	ふくしまユニットケア協議会	24時間シート作成と活用について
10月4日～	10月4日	1日間	高野 智子	特養	24時間シート作成と活用についての研修	サンパレス福島	10:00～16:00	ふくしまユニットケア協議会	24時間シート作成と活用について
10月6日～	10月6日	1日間	木幡 佳代	特養	平成28年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	郡山ユラックス熱海	13:30～16:30	県社協	医療と介護、福祉との連携について他
10月6日～	10月6日	1日間	山田 義忠	特養	平成28年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	郡山ユラックス熱海	13:30～16:30	県社協	医療と介護、福祉との連携について他
10月6日～	10月6日	1日間	大谷美恵子	特養	平成28年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	郡山ユラックス熱海	13:30～16:30	県社協	医療と介護、福祉との連携について他
10月17日～	10月17日	1日間	三瓶 政美	特養	第8回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	15:30～17:30	全国老施協	情報分析、各委員会事業の進捗について等
10月18日～	10月18日	1日間	三瓶 政美	特養	第2回総務・組織委員会	塩崎ビル	10:00～12:00	全国老施協	平成28年度タウンミーティングについて
10月20日～	10月20日	1日間	西 恵子	特養	平成28年度県社協県老協給食担当者研修会	県社協	13:15～17:00	県社協	口から食べる支援の重要性について
10月20日～	10月20日	1日間	佐藤 久子	特養	平成28年度県社協県老協給食担当者研修会	県社協	13:15～17:00	県社協	口から食べる支援の重要性について
10月23日～	10月23日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度就職フェア札幌	サッポロファクトリー	11:00～16:00	県社協	震災当時の施設の避難の様子等（トークセッション）
11月2日～	11月2日	1日間	三瓶 政美	特養	第2回高齢者介護施設における安全衛生教育資料作成委員会	安全衛生総合会館	14:30～17:00	中央労働災害防止協会	安全衛生教育資料の作成について
11月8日～	11月9日	2日間	木幡 佳代	特養	平成28年度県老協生活相談員研修	ハワイアンス	13:30～11:30	県老協	チームケアにおける生活相談員の役割
11月12日～	11月12日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度県社協県老協災害対策研修会	県社協	10:00～16:00	県社協	災害発生現場から読み取れる、大規模災害時における初動対応
11月14日～	11月16日	3日間	三瓶 政美	特養	第73回全国老人福祉施設大会（石川大会）	いしかわ総合スポーツセンター	13:00～17:00	全国老施協	介護保険制度の見直し及び介護報酬改定への対応
11月18日～	11月18日	1日間	佐々木裕行	特養	医療機関・社会福祉施設等における原子力災害広域避難計画の策定	南相馬市合同調査	13:30～15:00	福島県保健福祉部	ガイドラインの説明
11月21日～	11月21日	1日間	山田 義忠	特養	平成28年度社会福祉法人監事研修	ユラックス熱海	12:50～16:00	県社協	社会福祉法人制度改正をふまえた監事監査のポイント
11月21日～	11月21日	1日間	大谷美恵子	特養	平成28年度社会福祉法人監事研修	ユラックス熱海	12:50～16:00	県社協	社会福祉法人制度改正をふまえた監事監査のポイント
11月24日～	11月24日	1日間	三瓶 政美	特養	法人連絡協議会定例会	田村福祉会	10:30～15:00	田村福祉会	各法人の社会福祉法改正の対応
11月24日～	11月24日	1日間	佐々木裕行	特養	法人連絡協議会定例会	田村福祉会	10:30～15:00	田村福祉会	各法人の社会福祉法改正の対応
11月25日～	11月25日	1日間	三瓶 政美	特養	第9回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	14:00～16:00	全国老施協	情勢分析、各委員会事業の進捗について等
11月25日～	11月25日	1日間	菅野ゆかり	在介	「相双圏域医療介護連携調整事業」第4回退院調整ルール策定検討会	鹿島農村環境改善センター	13:30～15:30	相双保健福祉事務所	第1回病院ケアマネ合同会議結果報告と課題の整理
11月25日～	11月25日	1日間	真壁 成行	在介	県北医療圏域医療介護連携調整事業「退院調整ルール策定報告・運用説明会」	福島テルサ	13:30～16:00	県北保健福祉事務所	策定報告・運用説明
11月28日～	11月28日	1日間	北里真由美	特養	平成28年度相双地区集団給食会第3回研修会	タニコー	13:30～16:00	相双地区集団給食研究会	調理実演と指導ステーションで簡単メニュー
11月28日～	11月28日	1日間	庄司 真澄	特養	平成28年度相双地区集団給食会第3回研修会	タニコー	13:30～16:00	相双地区集団給食研究会	調理実演と指導ステーションで簡単メニュー
12月1日～	12月1日	1日間	三瓶 政美	特養	タウンミーティング（宮城会場）	松島一の坊	14:00～17:00	全国老施協	現場発信、現場からの問題提起等
12月5日～	12月5日	1日間	高橋真由美	特養	24時間シート作成と活用についての研修	サンパレス福島	10:00～16:00	ふくしまユニットケア協議会	24時間シート作成と活用について
12月5日～	12月5日	1日間	高野 智子	特養	24時間シート作成と活用についての研修（フォローアップ研修）	サンパレス福島	10:00～16:00	ふくしまユニットケア協議会	24時間シート作成と活用について
12月7日～	12月7日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度社会福祉法人制度改革対応セミナー（後期）	ホテル華の湯	13:00～16:40	経営協	改正法を活かした社会福祉法人の法人経営
12月7日～	12月7日	1日間	佐々木裕行	特養	平成28年度社会福祉法人制度改革対応セミナー（後期）	ホテル華の湯	13:00～16:40	経営協	改正法を活かした社会福祉法人の法人経営
12月11日～	12月11日	1日間	菅野ミサ子	特養	平成28年度感染症危機管理研修会	聖総合病院	15:00～17:15	保健福祉部	社会福祉制度改革の施行に向けた留意事項について
12月12日～	12月12日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度第3回社会福祉法人等代表者会議	福島県自治会館	13:30～16:00	保健福祉部	社会福祉制度改革の施行に向けた留意事項について
12月14日～	12月14日	1日間	三瓶 政美	特養	第10回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	13:00～14:30	全国老施協	規制改革推進会議第5回医療・介護・保育WG
12月14日～	12月14日	1日間	三瓶 政美	特養	第24回総会	都市センターホテル	15:00～17:00	全国老施協	平成29-30年度代議員選挙について他

12月15日～12月15日	1日間	三瓶 政美	特養	第3回高齢者介護施設における安全衛生教育資料作成委員会	安全衛生総合会館	9:00～12:00	全国老施協	安全衛生教育資料（案）について
12月20日～12月20日	1日間	菅野ミサ子	特養	高齢者施設における口腔ケアの基礎的研修	環境放射線センター	13:30～15:45	相双保健福祉事務所	施設における口腔ケアの取組と効果について
12月20日～12月20日	1日間	菅野麻美	特養	高齢者施設における口腔ケアの基礎的研修	環境放射線センター	13:30～15:45	相双保健福祉事務所	施設における口腔ケアの取組と効果について
1月12日～1月12日	1日間	三瓶 政美	特養	第2回総務・組織委員会四役会議	塩崎ビル	10:30～12:00	全国老施協	平成28年度事業進捗状況の確認について
1月18日～1月18日	1日間	三瓶 政美	特養	第4回役員会議	県社協	13:00～14:30	県社協	福島県老人福祉施設協議会の会費について
1月23日～1月23日	1日間	三瓶 政美	特養	第12回正副会長・委員長会議（拡大）	ホテルニュー長崎	15:00～17:00	全国老施協	情報分析、各委員会事業の進捗について等
1月23日～1月23日	1日間	三瓶 政美	特養	全国研究会議実行委員会（拡大）	ホテルニュー長崎	17:00～18:00	全国老施協	平成28年度全国老人福祉施設研究会議（長崎会議）について
1月24日～1月25日	2日間	三瓶 政美	特養	平成28年度全国老人福祉施設研究会議（長崎会議）	ホテルニュー長崎	13:00～15:30	全国老施協	海洋立国日本として（長崎で考える）
1月27日～1月27日	1日間	菅野ゆかり	在介	相双圏域医療介護連携調整事業「相双医療圏退院調整ルール策定報告・運用説明会」	万葉ふれあいセンター	13:30～16:00	相双保健福祉事務所	相双医療圏退院調整ルールについて
1月30日～1月30日	1日間	三瓶 政美	特養	平成28年度福島県社会福祉協議会デイサービスセンター部会相双支部第2回総会	ザ・セレクトン福島	13:00～	相双デイ部会	平成29・30年度福島県社会福祉協議会役員の選出について
1月30日～1月31日	2日間	三瓶 政美	特養	平成28年度相双地区特養連協議会第2回総会・施設長会議	ザ・セレクトン福島	15:00～17:00	相双特連	平成28年度事業報告（経過）について
2月3日～2月3日	1日間	三瓶 政美	特養	福島県の避難指示区域等における医療・介護に関する意見交換会	道の駅南相馬	15:30～17:00	厚労省、原子力災害対策本部、復興省	意見交換会
2月7日～2月7日	1日間	嶋原やすえ	特養	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会	サンライズ南相馬	14:00～16:00	福島県土木部	避難に関する防災情報についての理解を深める
2月7日～2月7日	1日間	高橋真由美	特養	24時間シート作成と活用についての研修（フォローアップ研修）	サンパレス福島	10:00～16:00	ふくしまユニットケア協議会	24時間シート作成と活用について
2月7日～2月7日	1日間	高野 智子	特養	24時間シート作成と活用についての研修（フォローアップ研修）	サンパレス福島	10:00～16:00	ふくしまユニットケア協議会	24時間シート作成と活用について
2月8日～2月8日	1日間	三瓶 政美	特養	会費検討委員会	県社協	13:30～	県社協	福島県老人福祉施設協議会の会費について他
2月8日～2月8日	1日間	三瓶 政美	特養	未来の福島を切り拓く「プロジェクト・プレゼンテーション大会」	コラッセふくしま	14:30～16:00	パブリックリソース財団	福島志高塾・塾生プレゼンテーション
2月15日～2月15日	1日間	三瓶 政美	特養	第13回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	15:00～17:00	全国老施協	情報分析、各委員会事業の進捗について等
2月20日～2月21日	2日間	三瓶 政美	特養	平成28年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会第2回総会及び施設長会議	ホテル華の湯	13:30～12:00	県老施協	平成29年度事業計画（案）について他
2月22日～2月22日	1日間	嶋原やすえ	特養	平成28年度社会福祉法人会計実務者決算講座	メルパルク仙台	10:00～17:00	全国経営協	社会福祉法人制度改革により求められる事業運営の透明性と会計担当者の役割
2月24日～2月24日	1日間	菅野ゆかり	在介	平成28年度現任認定調査員研修会	鹿島農村環境改善センター	13:30～15:30	相双保福	介護保険制度の運営状況他
2月24日～2月24日	1日間	眞壁 成行	在介	平成28年度現任認定調査員研修会	鹿島農村環境改善センター	13:30～15:30	相双保福	介護保険制度の運営状況他
2月24日～2月24日	1日間	浦住すみい	在介	平成28年度現任認定調査員研修会	鹿島農村環境改善センター	13:30～15:30	相双保福	介護保険制度の運営状況他
2月28日～2月28日	1日間	横山 啓子	特養	平成28年度退職共済事業事務説明会	ビッグレットふくしま	10:30～15:00	県社協	福島県社会福祉協議会共済事業事務について
3月9日～3月9日	1日間	三瓶 政美	特養	公益社団法人全国老人福祉施設協議会代議員選挙開票	県社協	13:00～	県社協	開票等
3月24日～3月24日	1日間	三瓶 政美	特養	第14回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	11:00～13:00	全国老施協	情勢分析、各委員会事業の進捗について等
3月24日～3月24日	1日間	三瓶 政美	特養	第26回総会	都市センターホテル	15:00～18:00	全国老施協	資産運用計画（案）について他
3月29日～3月29日	1日間	三瓶 政美	特養	飯館村地域包括支援センター運営協議会	飯館村役場	13:00～	飯館村	委嘱状交付他
3月29日～3月29日	1日間	菅野ゆかり	在介	飯館村地域包括支援センター運営協議会	飯館村役場	13:00～	飯館村	委嘱状交付他
3月29日～3月29日	1日間	佐々木裕行	特養	飯館村介護保険運営協議会	飯館村役場	15:30～	飯館村	.
合 計						98研修	述べ117名参加	